

**武蔵野市第五期長期計画・調整計画  
無作為抽出市民ワークショップⅣ**

(平成27年10月11日開催)

**報 告 書**

**武 蔵 野 市**



# 目 次

I	ワークショップ討議結果報告	
1	目的	4
2	位置づけ	4
3	事業概要	5
4	実施方法	5
5	ワークショップで出された意見（得票数順、上位3位まで）	6
II	ワークショップ実施状況報告	
1	当日の進行	8
2	ワークショップの状況と評価	9
3	発表用シート（グループ別）	
	重点取り組み1. 高齢者福祉計画、障害者計画の着実な推進	13
	重点取り組み2. 多様な主体による子育て支援施策の実現	15
	重点取り組み3. 公共施設ネットワークと都市基盤の再整備	18
	重点取り組み4. 環境共生都市の創造に向けた新たな取り組み	20
	重点取り組み5. 個性輝く三駅周辺のまちづくりの推進	22
	重点取り組み6. 情報収集・提供機能の強化と連携	24
4	アンケート集計結果	27
	資料	
1	参加不承諾者のアンケート集計結果と分析	40
2	その他資料	
	(1) ワークショップのご案内【新規参加者】	50
	(2) ワークショップのご案内【前回参加者】	52
	(3) 承諾書	54
	(4) アンケート（不参加者用）	55
	(5) 参加承諾書への決定通知	56
	(6) アンケート（参加者用）	57
	(7) 見学のルール	59





# ワークショップ討議結果報告



## 1 目的

武蔵野市では、昭和46年の第一期長期計画から、策定委員会を中心とし、市民参加・議員参加・職員参加によるいわゆる「武蔵野市方式」により策定を行ってきた。

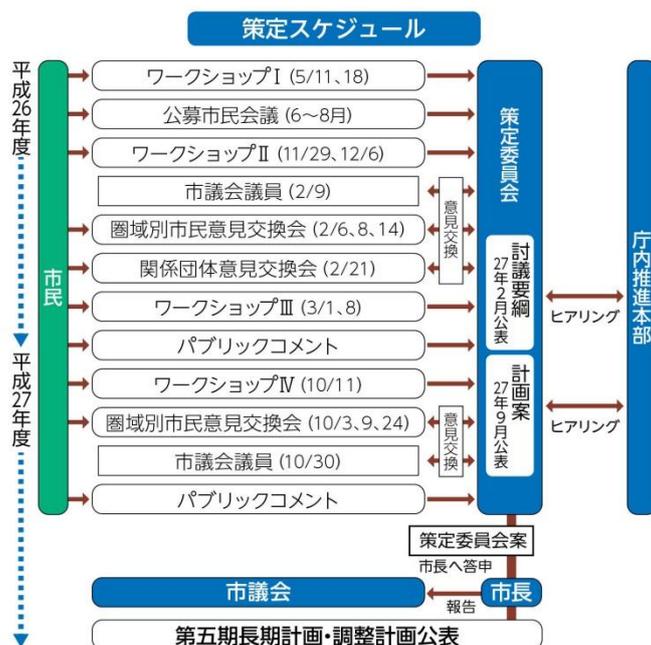
第五期長期計画・調整計画（以下「調整計画」という。）の策定も、この「武蔵野市方式」を継承するが、4年前の第五期長期計画の策定時から新たな試みとして始まったのが無作為に抽出された市民によるワークショップである。当時は無作為抽出でワークショップを行うこと自体が市として初の試みだったが、現在は他の個別計画の策定等の場面においても、市民の意見を伺う手法の一つとしてたびたび取り上げられている。

本ワークショップは、調整計画の策定過程で行うもので、これまで市政などに参加の機会が無かった多くの市民にもご参加いただき、多様な意見をいただくとともに、今後の市政参加のきっかけの一助になることを目的として行ったものである。

## 2 位置づけ

調整計画の策定にあたっては、平成26年5月に実施した無作為抽出市民ワークショップの第1回が皮切りとなり、同年6月に「公募市民会議」、8月に「策定委員会」を設置し、調整計画における論点をまとめた討議要綱を平成27年2月に公表するに至った。その後「圏域別市民意見交換会」や「関係団体意見交換会」など討議要綱に対する市民との意見交換の機会を設け、そこでいただいた意見や、パブリックコメントにより提出された意見、また3月に開催した第3回無作為抽出市民ワークショップでの意見等を踏まえて、策定委員会において議論を重ね、同年9月には調整計画の計画案を公表した。

昨年5月から数えて4回目にあたる今回のワークショップでは、テーマを「重点取り組みに関して、行政がやるべきこと・市民ができること」に設定し、市民の皆様にご話し合っていた。なお調整計画の策定スケジュールの全体像は下表のとおりである。



### 3 事業概要

- |              |  |
|--------------|--|
| (1) 日 時      | 平成 27 年 10 月 11 日 (日) 13:00~17:00  |
| (2) 会 場      | 武蔵野市役所西棟 8 階 811 会議室   |
| (3) 対象者      | 平成 27 年 8 月 1 日現在、武蔵野市の住民基本台帳に登録されている年齢 18 歳以上の者から無作為に抽出した者 1,000 人及び平成 27 年 8 月 1 日現在、武蔵野市の住民基本台帳に登録されている年齢 18 歳から 24 歳までの者 500 人並びに前回ワークショップⅢ（平成 27 年 3 月実施）の参加者 122 人 |
| (4) 参加承諾者数   | 105 人（うち前回参加者 46 人）  |
| (5) 参加者数     | 87 名（うち前回参加者 38 人）   |
| (6) テーマ      | 「武蔵野市第五期長期計画・調整計画計画案の重点取り組みについて」   |
| (7) 討議の方法    | 以下 4 「実施方法」にて記載  |
| (8) 謝 礼      | 4,000 円（クオカード）   |
| (9) アンケート回収数 | 参加者アンケート 85 件<br>参加不承諾者アンケート 258 件   |
| (10) 託児数     | 2 人  |

### 4 実施方法

本ワークショップでは、「第五期長期計画・調整計画計画案」をテーマとして、以下の 6 の 4 つ重点取り組みについて話し合いを行った。

重点取り組み 1. 高齢者福祉計画、障害者計画の着実な推進

重点取り組み 2. 多様な主体による子育て支援施策の実現

重点取り組み 3. 公共施設ネットワークと都市基盤の再整備

重点取り組み 4. 環境共生都市の創造に向けた新たな取り組み

重点取り組み 5. 個性輝く三駅周辺のまちづくりの推進

重点取り組み 6. 情報収集・提供機能の強化と連携

6 つの重点取り組みそれぞれにつき、2 あるいは 3 グループを割り当て、参加者がどのグループにつくかはくじで決定した。1 グループ当たり 6～7 人で全 14 グループに分かれ、割り当てられた重点取り組みに対し「行政がやるべきこと」及び「市民ができること」それぞれの意見を考えてもらい、グループごとに模造紙に意見をまとめて発表した。

第 3 回までのワークショップまでは、途中でメンバーの交代を行うワールドカフェ方式を取ったが、参加者アンケートにおいてメンバー交代をせずに同一メンバーで議論を深めたいとの意見をいただいたことを踏まえ、今回は途中のメンバー交代は行わなかった。グループごとの発表の後には、1 人につき 3 票の投票権をもって、1 票目は「行政がやるべきこと」の意見のうち自分が最も共感できる意見に、2 票目は「市民ができること」の意見のうち自分が最も共感できる意見に、最後の 3 票目は「行政がやるべきこと」「市民ができること」の枠を問わず、共感できる意見に投票をしてもらった。

なお、今回初の試みとして、討議の途中に 5～10 分程度職員がグループに入り、参加者から市の施策等について質問を受ける時間を設けた。

## 5 ワークショップで出された意見（得票数順、上位3位まで）

※【 】内の数字は得票数

### ① 行政がやるべきこと

**1位** 「～情報の垂れ流しでなく、伝えたいターゲットに応じた媒体の活用を通じて、欲し

**【22】** い人の所へ情報を届ける～」

《重点取り組み6：情報収集・提供機能の強化と連携より》

- ・市HPのMYページ化
- ・駅の電光掲示板の時間別利用
- ・ムーバス、病院にテレビをつけて4コマ漫画を流す
- ・若者へは、Twitterで細かく配信（写真・映像）

**2位** 「公共施設の複合化・統廃合と効率的運用」

**【20】** 《重点取り組み3：公共施設ネットワークと都市基盤の再整備より》

近隣の市・区との公共施設の統合・共同マネジメント

公共施設の民間との共同利用や民間活用

小中学校・大学の開放や有効活用

駐輪場の更なる増設と走行レーン・区域の整備

**3位** 「吉祥寺駅圏内の総合病院誘致」

**【18】** 《重点取り組み5：個性輝く三駅周辺のまちづくりの推進より》

- ・吉祥寺には救急の病院が不足状態であるため総合病院の設置
- ・地域に点在する各病院の連携機能を持たせる
- ・現医療施設の買取も検討する

### ② 市民ができること

**1位** 「コミセンの「プレイス」化」

**【13】** 《重点取り組み5：個性輝く三駅周辺のまちづくりの推進より》

- ・20代～40代も利用しやすい環境づくり
- 税金を払っている年代が利用しづらい
- ・三駅圏内、吉祥寺圏内のコミセンを特に活用
- プレイスの利用圏外であるため

**2位** 「子供へのボランティア活動」

**【12】** 《重点取り組み2：多様な主体による子育て支援施策の実現より》

- ・勉強を教える
- ・交通マナーを教える
- ・ゴミ拾い
- ・料理、手芸等を教える

**3位** 「生ごみの減量」《重点取り組み4：環境共生都市の創造に向けた新たな取り組みより》

- 【11】**
- ・各家庭、集合住宅へのコンポストの設置
  - ・積極的に肥料を受入れる→緑が増える
  - ・フリーマーケットの活用
  - 「現状を知ることから始めよう」



## ワークショップ実施状況報告

## 1 当日の進行

時刻	所要時間(分)	内容	具体的な動き
11:00		集合・会場設営	会場設営(811会議室・和室)
12:30～		開場・受付開始	①受付時、くじを引いてもらい、座ってもらうテーブルを決定 ②1人は1階で誘導。託児利用者は和室へ案内
13:00～13:05	5	オープニング 導入・説明	①部長挨拶(長期計画・調整計画、計画案) ②1日の流れ説明
13:05～13:20	15	市の現状説明	重点取り組み紹介Vを流す
13:20～13:25	5	話し合いについての 説明	説明の中でスタッフ(職員)紹介
13:25～13:35	10	作業	付せん書き(テーマについて課題出し)
13:35～13:45	10	自己紹介	自己紹介と自分が考えた課題について紹介
13:45～14:20	35	職員に質問タイム 関係性を高める 課題の共有 意見の発散 休憩	第1ラウンド ①行政がやるべきことについて話し合い(自由討議)&付せん 書き ※課題と②とで付せんの色を分ける ※この間、職員が随時各担当テーブルに入り、質問を受ける。 配置は別紙のとおり
14:20～14:45	25		第2ラウンド ②市民ができることについて話し合い(自由討議)&付せん書き ※付せんの色分け
14:45～14:55	10	休憩	お手洗い、自販機案内
14:55～15:40	45	結論を出す	第3ラウンド ①提案をまとめる ・グルーピング ・キーワード出し ②各意見に説明付け ③発表者決め
15:40～16:30	50	意見発表	グループごとに意見発表(1グループ3分)
16:30～16:35	5	投票	トイレ休憩含む
16:35～16:55	20	クロージング	①投票結果の確認(得票数上位3位までのものの紹介とコメント) ②閉会の挨拶
16:55～17:00	5	終了	①アンケート記入後、自由解散 ②会場出口にて受領書と引換に謝礼のクオカード手渡し
17:00～17:30	30	撤収	会場原状回復

## 2 ワークショップの状況と評価

### テーブル決め

ある重点取り組みだけに議論が偏ることのないよう、また各グループの人数が均等になるよう、あらかじめテーブルで担当となる重点取り組みを割り振り、どのテーブルにつくかは受付でくじ引きにより決定した。討議する内容が当日くじで決まることについては、一部の参加者から「あらかじめ自分が当たるテーマがわかっていたら、それについて事前に学べたのに」との声も聞かれた。実際は当日の不参加者が参加承諾者の1割～2割を占めるので、事前にテーマの割り振りを行うと、結果的に人数の偏りが出てしまう恐れがあり、難しいと思われるが、それについては今後の課題としたい。話し合うテーマを自分では選べないことについては事前に周知していたため、大きな混乱はなく、参加者に対するアンケートでも「これまで特に意識した事のなかったテーマに関して改めて考えられ、また、他の方の意見が聴けて良かった」との肯定的な意見も見られた。

今回は、ワールドカフェ方式による途中のメンバーチェンジを行わず、最初の討議から最後の発表までずっと同一のテーブル、同一のメンバーで話し合いをしていただいた。メンバーチェンジをしなかった理由としては、前回までの参加者の希望を反映させるため及び同一メンバーにより深い議論を時間をかけて行っていただく意図があったためだが、結果的に参加者からは賛否両論の意見が聞かれたので、今後の方式については再度検討したい。

### 導 入

今回、参加承諾者にはワークショップのテーマが調整計画案の6つの重点取り組みであることを伝え、重点取り組みの抜粋版を事前に送付していた。しかし、なかなか文字だけではイメージが掴みにくい部分もあると考え、広報に関するチャレンジとして、事務局である企画調整課職員主体で、重点取り組みについて10分程度の紹介動画を作成し、スクリーンを用いてワークショップの導入部分で上映した。



導入部分で上映した重点取り組み紹介動画の一部

### グループ討議

6つの重点取り組みそれぞれについて、2あるいは3グループを割り当て、全部で14グループに分かれて討議を行った。話し合いを始める前に終了時刻をお知らせし、途中で何度か予告を行い、時間になったら声掛けをし、話し合いをやめてもらう形をとった。

はじめに各自テーマに対する課題出しをしていた  
だき、グループ内で自己紹介と合わせて課題を共有、  
次のラウンドで「行政がやるべきこと」、更に次のラ  
ウンドで「市民ができること」について話し合ってい  
ただいた。はじめに出した課題を踏まえて行政あるい  
は市民が行う具体的な政策について討議していただ  
く意図だったが、課題そのものについてもっと話し合  
う時間が欲しかった、との声も一部から聞かれた。



話し合いの様子

また、今回初の試みとして、討議の途中に5～10  
分ほど、順次職員が各グループに入り、市の政策等についての質問を受ける時間を設けた。グル  
ープによってはたくさんの質問が飛び出したところもあり、中にはずっと職員がグループについ  
ていて欲しい、という声もあったが、必要があれば職員に声をかけるというスタンスのグル  
ープもあり、それぞれであった。議論するにあたって現状に関するデータが足りない、現状がわかる  
資料が欲しい、という要望もあった。

## 発 表

各グループでの話し合いの結果  
を、「行政がやるべきこと」と「市  
民ができること」それぞれ1つず  
つ意見にまとめて発表した。

発表者は、グループの中で誰に  
するかを決めてもらい、発表時間  
は3分とし、途中残り時間の案内  
を行った。3分は短いとの声も聞  
かれたが、概ねどのグループも時  
間内に収まるよう話をまとめてい  
ただき、発表を終えた。



発表の様子

## 投 票

1人につき3票の投票権をもって、1票目は「行政がやるべきこと」の意見のうち自分が最も  
共感できる意見に、2票目は「市民ができること」の意見のうち自分が最も共感できる意見に、  
最後の3票目は「行政がやるべきこと」「市民ができること」の枠を問わず、共感できる意見に投  
票をしてもらった。投票は参加者一人につきシールを3枚配布し、発表用の模造紙の投票欄に貼  
ってもらい、職員が集計を行った。得票数3位までのものを職員の簡単な講評とともに発表した  
が、行政がやるべきこと、市民ができること共に1位から3位までの間で票数差はほとんどなか  
った。投票を行う意味としては、ワークショップ参加者の中で多くの共感を得られた意見を把握  
することと考えるが、参加者アンケートにおいて「何故投票を行うのか必要性が不明」とする意  
見も見られたため、あり方については今後検討したい。

## 総 評

以下、項目ごとにワークショップ全体を振り返る。

### 1. 抽出条件の変更

今回のワークショップで前回から大きく変わった点の1つとして、参加者の抽出条件の変更がある。これまで行った3回のワークショップを含め、市政に対する参加の場面において若者が少ないことが課題の一つであったため、抽出の時点で若者の層を厚くした。市内に住民登録のある18歳以上の方1,000人にプラスして18歳から24歳までの方500人を抽出し、計1,500人に参加通知を送ったところ、参加者アンケートの結果からわかるように、第3回ワークショップと比較して20代以下の参加率が約6%から約20%と飛躍的に伸びた。実際の話合いの場面でも概ね各テーブルに一人以上は若い世代の参加者が入る形となり、アンケートの自由記載においても、多世代で意見交換ができたことがよかった、との意見が多数見られた。若い世代の参加を促し、世代間交流を活発化させるのに有効だったのではないかと思われる。

また、今回抽出者の合計人数を1,000人から1,500人に増やしたため、これまで行っていた参加承諾書返送締切前のハガキによる督促は行わなかったが、後述の前回からの参加者が一定程度いたこともあり、結果的に90人近くの方に参加いただくことができた。

### 2. 前回からの参加者

今回で第五期長期計画・調整計画に係るワークショップ開催は4回目となるが、前回の3回目から引き続きの参加者が全参加者87人のうち38人と4割以上にのぼっており、1回目のワークショップから継続して参加していただいている方も数人いる。これは、無作為抽出という手法が、市政に対して意見は持っているが、それを具体的に伝える機会がなかったため、これまで特に積極的な市民参加は行っていなかった人材の発掘に有効に作用した表れと考えられる。ワークショップの参加がひとつのきっかけとなり、今後市政にますます興味を持っていただき、さまざまな場面で活躍される市民の方が一人でも多く出てくださることを願いたい。

### 3. テーマの設定

話し合うテーマの設定に関しては、これまでのワークショップでもその都度テーマは設けていたが、全体的な傾向として話が広がりがちで市に対する要望が意見の中心となる印象があったため、今回は工夫を凝らし、6つの重点取り組みに対し、「行政がやるべきこと」と「市民ができること」という2つの視点で意見出しをしていただくこととした。重点取り組みの種類によっては「市民ができること」という視点に関する意見はかなり出しづらいためと懸念されたが、どのグループも知恵を絞っていただき、多くの貴重な意見として発表していただいた。重点取り組みという一定絞られたテーマを設定したことにより、具体的な施策に対する提案を出していただくことができたと思う。

### 4. 職員の関わり

今回ワークショップ初の試みとして、職員がグループの中に入って質問を受ける時間を設けた。5分~10分程度の短い時間ではあったが、グループによっては積極的な質問が出て、一定程度市民の意見交換の活発化に寄与できたのではないかと思われる。参加者からも、「市政に関して意見を出すにも、まずは基礎的な情報がないと考えることもできないので、市政に詳しい職員がテーブルに入り、情報を提供するべきだ」との意見が寄せられた。今回は初ということで、このような形で試みたが、今後も、市民同士の意見交換が中心であることを考慮しつつ、職員の関わり方

をどうするかについて引き続き検討していきたい。

#### 5. 情報発信に対するチャレンジ

今回こちらについても初の試みとして、テーマである重点取り組みに関する紹介動画を作成し、ワークショップの冒頭で上映した。参加者からは概ね肯定的な意見が聞かれ、外部に発注したのではなく、あくまで職員が作成したという事実に驚く声もあった。毎回のワークショップにおいても市の情報発信に対する意見は多く、話し合いの際の基礎資料としても、導入部分におけるテーマの説明は重要である。今後もよりわかりやすく、伝わりやすい広報のあり方を模索し、新しいスタイルにもどんどん挑戦し、発信していくことが必要と考える。

#### 6. 全体の進行

今回、はじめからおわりまで同一のメンバーでより深く議論し、また、まとめの時間を多くとっていただくことを目的としてワールドカフェ方式による途中のメンバーチェンジは行わなかった。しかし結果として、発表用の模造紙が出来上がるまでの時間の短縮には至らず、ワールドカフェの不採用がまとめのための時間の確保に直接的に繋がったかは疑問が残る。前述したように、今回の方式については結果的に参加者からは賛否両論の意見が聞かれたため、ワールドカフェ方式採用、不採用それぞれにメリット、デメリットがあることを踏まえ、今後のワークショップにおいてどうしていくかは再度検討したい。

今回、時間の管理が甘く結果的に予定終了時刻よりも若干押してしまったことも反省点の一つである。次回は途中途中の時間管理を徹底し、無理なく予定通りの進行を行うことに努めたい。

#### 7. まとめ

今回のワークショップも、参加者からは「新たな発見があった」「市政に興味を持った」「色々な世代の人と意見交換ができてよかった」等肯定的な意見が多く見られ、これまで市政に対して意見を言う機会がなかった方に対し、参加のきっかけづくりとなった意義は大きいと思われる。

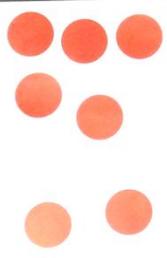
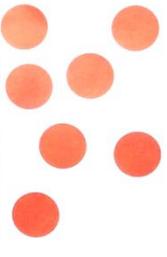
また、長期計画や調整計画を通して市政についてに知ってもらうという側面もあると考えられる。

今後の課題として、先にいくつか挙げた点と合わせ、ワークショップで出た意見を具体的に策定委員会での議論にどう繋げていくか、そして先の第六期の長期計画の策定も見据えて無作為抽出ワークショップを開催する意義について改めて考えていきたい。

3 発表用シート（グループ別）

① 重点取り組み1「高齢者福祉計画、障害者計画の着実な推進」

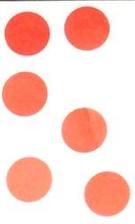
第五期長期計画・調整計画 計画案について

重点取 り組み No.	1. 高齢者福祉計画 障害者計画の着実な推進	グループ No. /
メンバー	田村, 土屋, 平賀, 小金井, 花井, 糸田	投票欄
グループ 意見まとめ	<small>事業タイトル</small> ① 行政がやるべきこと 世代間コミュニティの強化 健全な財政運営 民間の活用を含めたサービスの充実 世代間をこえるコミュニティの場作り 新たな雇用の創出	 7
	<small>事業タイトル</small> ② 市民ができること コミュニティと自己管理 世代をこえた近所の交流 シニアリーダーボランティアポイント 自己健康管理	 7
残したい意見	。実行した後の市民との意見交換の場	

第五期長期計画・調整計画 計画案について

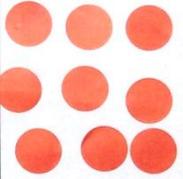
<p>重点取 り組み No. 1</p>	<p>高齢者福祉計画、 障害者計画の着実な推進</p>	<p>グループ No. 2</p>
<p>メンバー</p>	<p>佐藤、安藤、工藤、鈴木、小松、渡辺</p>	<p>投票欄</p>
<p>グループ意見まとめ</p>	<p>事業タイトル 企画とその周知。 ・世代を超え、運営・参加可能なイベント。 →長期・地縁。 ・周知活動。 →行政と市民で二人三脚。 →周知自体が地域活動・情報共有へ。</p>	<p>● ● ● 3</p>
	<p>事業タイトル 市民側の意欲とそいバランス 意識的に向合う・興味を持つことが必要不可欠。 →世代の違いをお互いに意識しつつ、壁を作らない！ 施設を積極的に利用に良いという認識を持つ。 イベントに対して、無理のない形で参加に良いというへ。</p>	<p>● ● ● ● ● ● ● ● 5</p>
<p>残したい意見</p>	<p>施設の積極的利用。 ①要介護者に対する支援。貧困対策。財政との協働。 認知症コーディネーター75才在住6件で存在確認。 又貸室に設 者によりはら？ 小・中学校の授業・イベントに組み込む。 年齢を超えて運営できるイベント 参加できるイベント そのほかの施設外での活動も検討して 継続して取り組む 目標に近づけること のために取り組むこと</p>	

② 重点取り組み2 「多様な主体による子育て支援施策の実現」

第五期長期計画・調整計画 計画案について		
重点取り組み No. 2	多様な主体による 子育て支援施策の実現	グループ No. 3
メンバー	石原, 大塚, 井出, 林, 茂木, 沼田	投票欄
グループ意見まとめ	事業タイトル 市民参画のためのコーディネートとサポート  ① 行政がやるべきこと (Stickers: 市民参画の推進(PR)EP, 737...ト化, アクト・ミカ, 行政 交際化の お願い)	 6
	事業タイトル 不稼働資産の活用と、資源の適正配分 ・ 市民の資産の有効活用 ・ " 能力 " ・ " 時間 " ・	 4
残したい意見	(Sticker: 公益活動 を 不ポイント化して 市民サービス強化 3歳以下→介護)	



第五期長期計画・調整計画 計画案について

重点取 り組み No. 2	多様な主体による子育て支援施策の 実現	グループ No. 5
メンバー	鎌田、小林、阿部、川原、頼、中山	投票欄
グループ 意見まとめ	① 行政がやるべきこと <small>事業タイトル</small> 人材・環境・報酬 シニアの発掘と活用(韃州を伴う) 定員未満になっている幼稚園の活用(延保育の実現) スタッフが安心して働ける労働条件をつくる	 16
	② 市民ができること <small>事業タイトル</small> 子育てへのあたたかい環境づくり 地域の子供達への声かけ 夫婦の協力 祖父母の協力 コミュニティセンターの活用(交流)	 9
残したい意見	第二子第三子 への助成金 など (第三子無料化) 病後見を いつでも預け られるシステム づくり 出産後 1年間は母子 在宅できる 支援づくり	

③ 重点取り組み3「公共施設ネットワークと都市基盤の再整備」

### 第五期長期計画・調整計画 計画案について

重点取り組み No.	グループ No.
3	6
メンバー	投票欄
事業タイトル	
道路・公共施設	
① 行政がやるべきこと	
道路行政の5~10年後のイメージとリマとび	●
都道・市道・私有地の接道のデザイン統一	●
駅前・再開発・住民協賛・都市基盤整備で判断力・実行力・展覧能力を高め	●
子供の増加に伴う小学校の収容スペース確保(一部地域)	●
公共施設の費用対効果分析	●
コミュニティ公共施設の活用利用促進	●
事業タイトル	
道路・公共施設	
② 市民ができること	
道路について市民から市へ報告	●
施設維持への意識啓発	●
市民母体への施設運営への参画	●
玉川と水(川・仙川)を未来遺産に	●
残したい意見	

重点取り組み3

グループ意見まとめ

残したい意見

グループ6

投票欄

6

7

グループ6

投票欄

6

7

第五期長期計画・調整計画 計画案について

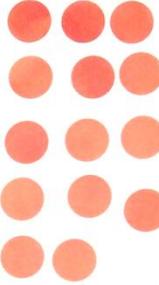
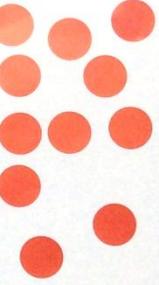
重点取 り組み No. 3	公共施設ネットワークと 都市基盤の再整備	グループ No. 7
メンバー	今野、糸山、東矢、石川、中村、溝渕 寛	投票欄
グループ意見まとめ	事業タイトル ① 行政がやるべきこと 公共施設の複合化・統廃合と効率的活用	● ● ●
	近隣の市・区との公共施設の統合・共同マネジメント	● ● ●
	公共施設の民間との共同利用や民間活用	● ● ●
	小中学校・大学の開放や有効活用	● ● ●
	馬主輪場の更なる増設と走行レーン・区域の整備	● ● ●
		● ● ●
		● ● ●
		● ● ●
		● ● ●
		● ● ●
事業タイトル ② 市民ができること 街づくりの為に情報発信	● ● ●	
SNSや目安箱等による積極的な意見提起	● ● ●	
公共施設の計画・建設における市民参加	● ● ●	
公共施設運営における市民参加	● ● ●	
環境維持のボランティア活動	● ● ●	
	● ● ●	
	● ● ●	
	● ● ●	
	● ● ●	
	● ● ●	
残したい意見	市民農園の拡大 武蔵野会堂は早期に建設民間と共同で有効活用したい 視座の揃った 逃がてり ↓ 視座の守る	2位 20 6

④ 重点取り組み4 「環境共生都市の創造に向けた新たな取り組み」

第五期長期計画・調整計画 計画案について

重点取り組み No. <b>4</b>	環境共生都市の創造に向けた新たな 取り組み		グループ No. <b>8</b>
メンバー	吉田、安永、下山、佐山、蒔苗、松本		投票欄
グループ意見まとめ	<p>事業タイトル 水環境都市を目指す</p> <p>① 行政がやるべきこと 水害の軽減や地球温暖化の防止、などといった働きを果たすことが可能で、雨水を有効活用できる“雨水浸透ます”の設置を市民にもっとアナウンスし、啓発していく。 例) 新築の家やマンションにつけるようにアナウンス。 ・助成金がもらえるということも、どなたも知らせていく。</p>	 <p style="text-align: right; color: red; font-size: 2em;">6</p>	
	<p>事業タイトル ゴミ問題の解決</p> <p>② 市民ができること</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ゴミの削減</li> <li>・ゴミの分別</li> <li>・再利用</li> </ul> <p>☆ コミュニティサイトの存在を知り、情報交換を行うことで、ゴミ問題への意識を高める。</p>	 <p style="text-align: right; color: red; font-size: 2em;">3</p>	
残したい意見	<p>行政がやるべきこと</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・空家対策・公園の整備(災害時の使い方など)</li> <li>・スマート化に対する情報発信 <span style="float: right;">を市民に知らせる</span></li> </ul> <p>市民ができること</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・節電</li> </ul>		

第五期長期計画・調整計画 計画案について

重点取 り組み No. 4	環境共生都市の創造に向けた 新たな取り組み	グループ No. 9
メンバー	宮島、山田、城、野村、じゅん、しげ	投票欄
グループ意見まとめ	① 行政がやるべきこと 事業タイトル 新たな生ごみリサイクルルートの構築 ・コンポスト施設の設置補助 ・リサイクル肥料の受入先を開拓 市内農家、公共施設、各家庭、 市民農園、体験農園をつくる	 14
	② 市民ができること 事業タイトル 生ごみの減量 ・各家庭、集合住宅へのコンポストの設置 ・積極的に肥料を受入れる → 緑が増える ・フリーマーケットの活用 「現状を知ることから始めよう」	 11
残したい意見	・雨水浸透施設の普及(地下水対策) ・駅前、歩道への広告設置・表示ルールの徹底	

3位

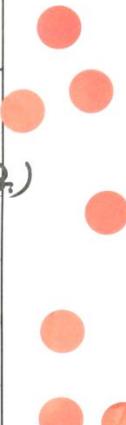
⑤ 重点取り組み5 「個性輝く三駅周辺のまちづくりの推進」

第五期長期計画・調整計画 計画案について

重点取り組み No. 5	個性輝く三駅周辺の まちづくりの推進	グループ No. 10
メンバー	みや川 須田 藤谷 赤松 野田山	投票欄
グループ意見まとめ	① 行政がやるべきこと 事業タイトル 吉祥寺駅圏内の総合病院誘致 ・吉祥寺には救急の病院が不足状態のため 総合病院の設置 ・地域に点在する各病院の連携機能を高める ・現医療施設の買取りも検討する	 3位 18
	② 市民ができること 事業タイトル コミセンの「プレイス」化 ・20代～40代も利用しやすい環境づくり →税金を払っている年代が利用しやすい ・三鷹圏内、吉祥寺圏内のコミセンを特に活用 →プレイスの利用圏外のため	

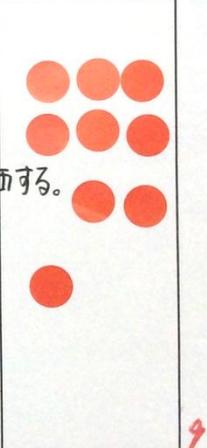
残したい意見	災害時対応	市街地施設 防災機能強化 (防災機能対策)	武蔵境 JR高学1号 活用(仮設等 etc)	公会堂と 市政センター 機能の統合 (吉祥寺)	吉祥寺南口 駅前広場 ↓ 地下街化	自転車専用 レーン
	松井病院を 買取り	三鷹駅北口 商店街 活性化	電柱の 地中化 の推進	红楼 子育て (保赤行政)	吉祥寺南口 歩行者環境 改善	交通安全 マナー向上 自転車整備

第五期長期計画・調整計画 計画案について

重点取 り組み No.	5. 三駅周辺の 個性豊かに まちづくりの推進	グループ No. ⑪
メンバー	6名 野村/宮本/クボタ/吉田/岩城/谷口 投票欄	
グループ 意見まとめ	<p>① 行政がやるべきこと</p> <p>事業タイトル 落ちついた 魅力ある 街づくり。 衰退しづらい街づくり。 - 治安、安全、(夜目覚めが歩み出せる) - 清潔-道路脇の緑化等の維持 - 不快感を減らす - 空き家・道路への露店規制 - モラル教育の徹底と取組。</p>	 <p>7</p>
	<p>② 市民ができること</p> <p>事業タイトル コミュニケーション (市民同士の) 行政と共有する努力 (広報と新聞と語り合う等) 互いに会話し、市民同士の協力と築く 多量者の人々の思いを常に 他人に迷惑をかけることを避けよう</p>	 <p>5</p>
残したい意見	<p>- 民間資金の活用。</p> <p>- 初長期計画案がより具体的であった方がよい。(ギョウの方向性をより明確にする)</p>	

⑥ 重点取り組み6「情報収集・提供機能の強化と連携」

第五期長期計画・調整計画 計画案について

重点取 り組み No. 6	情報収集・提供機能 の強化と連携	グループ No. 12
メンバー	嶋山・山田・肥田・ジマック・武内・星野	投票欄
グループ 意見まとめ	<p>事業タイトル ① 行政がやるべきこと ～情報の垂れ流してなく、伝えたいターゲットに 応じた媒体の活用を通じて、欲しい人の所へ情報を届ける～</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・市HPのMYページ化</li> <li>・駅の電光掲示板の時間別利用</li> <li>・ムバス、病院にテレビをつけて4コマ漫画を流す</li> <li>・若者へは、Twitterで細かく配信（写真・映像）</li> </ul>	 <p>1位 22</p>
	<p>事業タイトル ② 市民ができること ～市政に興味を持って、身近にある情報にタッチ～</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・市民は積極的に情報提供（アンケート・回覧板）に協力する。</li> <li>・市HPや広報媒体に携わたり、市長に手紙を書くことで声をあげる。訴面する。</li> <li>・大学新聞に市が学生への情報を載せ、学生や市民がその情報を受け とることで、相互作用を生み出す。</li> </ul>	 <p>9</p>
残したい意見	<p>市長の手紙はオカタイ もっと良い ネーミングを?</p> <p>情報に「アイキャッチ」 をつけて くれ。</p> <p>散歩がてら 隣人へ気を つける。</p> <p>少子化が進んで いるので、若者に人気 のある町を講義する アールビョリ子育て 情報を宣伝して。</p> <p>FMレガシー を庁舎や 銀行、病院 などで流せ</p> <p>行政は 最大のサセ 業としての自覚</p> <p>老人の日を 止めて 若者の日を つくろ</p> <p>同じ情報と 何度も同じ意 （白紙の紙に 市民に送る）</p> <p>伝える広報 から伝える広報 への意識改革</p>	

第五期長期計画・調整計画 計画案について

重点取 り組み No. 6	情報収集・提供機能の強化 と連携	グループ No. 13
メンバー	水口、今井、佐野、石丸、笹本、仙石、柳田	投票欄
グループ 意見まとめ	<small>事業タイトル</small> ① 行政がやるべきこと 情報の共有化 ・ネットワークの構築 ・若者と高齢者のマッチング ・教育機関への積極的アプローチ ・HPの大改造 ・市内の地域別ニーズ調査・分析 ・防災活動情報へのアプローチ	 12
	<small>事業タイトル</small> ② 市民ができること 当事者意識の自覚 ・イベントへの参加 ・レスポンスを早くする ・掲示板の管理 ・SNSを積極的にフォローする	 5
残したい意見	世界一住み たくなる市 と目差す こと 市報の内 容が多い 全ては読取 POINTとある	

第五期長期計画・調整計画 計画案について

重点取 り組み No. 6	情報収集・提供機能の強化と連携	グループ No. 14
メンバー	桜井・小酒井・頼永・土屋・古庄・吉田・原田	投票欄
グループ 意見まとめ	<small>事業タイトル</small> ① 行政がやるべきこと 市政情報の広報媒体と発信方法の多様化・個人へのマッチング 市報のみでは市の情報量が少ないため、市のHPの活用 をしていく。また、インターネット掲示板や複数のメール マガジンを作ったり、プレスリリースを行う。情報収集 強化のため、コミセン、テンミリオンの利用及び図書館 館内に情報提供のための特別ブースを設置する。	● ● ● ● ● ●
	<small>事業タイトル</small> ② 市民ができること 市民の意識改革・市民の交流 市民が積極的に市政の情報をとりに行く 意識を持つ。また、ご近所づきあいを通し てコミュニケーションを増やす。(あいさつ等) 町内会の復活、コミセンの活用を行って いく。	● ● ● ● ●
残したい意見	市報の工夫 インターネット 掲示板を作る 複数のメール マガジンを作る 市民向 人気番組 を作る。 2:20 発信 近所のつよのつ あいさつ 市民協会の 復活 NGO コミセン の活用 身近な人 と市での 生活につ いて訪 ねる。 もと近所 付き合い がある。 市に協力	自主的に 動く 自分が情報を とりに行く (家の門の合鍵を 返す...) ご近所づきあ いで 情報交換

## 4 アンケート集計結果

### アンケート集計結果

参加者には、ワークショップ終了後にアンケートの記入をお願いし、85人の協力を得られた。なお参加者のうち、今回初めて参加の方、前回からの継続の方の別については右表のとおりであった。

項目	申込人数	実際の参加者
①新規	59	48
②継続	46	37
合計	105	85

※自由記載欄は、原文のまま表記

### 問1

#### (1) 性別

参加者の職業と照らし合わせると、会社員と男性の参加率が高いことから、連休中開催したことが影響していると考えられる。

項目	人数	比率
① 男性	52	61.1%
② 女性	32	37.6%
不明(無回答)	1	1.1%
合計	85	

#### (2) 年齢

年齢構成については10代から80代までの方から参加があり、幅広い年代の方々に参加していただくことができた。10代・20代は全体の19.5%となり、前回の割合(5.8%)に比べ、多くの参加を得ることができた。一方で、30代から40代の参加率は13.8%にとどまっている。60代の参加者は31.0%と年齢層に偏りが生じており、60代以上を合計すると48.2%となり、参加者の約半分となった。

項目	人数	比率
① 10代	2	2.3%
② 20代	15	17.6%
③ 30代	8	9.4%
④ 40代	4	4.7%
⑤ 50代	13	15.3%
⑥ 60代	27	31.8%
⑦ 70代	12	14.1%
⑧ 80代以上	3	3.5%
不明(無回答)	1	1.1%
合計	85	

### (3) 住所

町目別の参加者割合については、吉祥寺北町や関前に参加者が多く、一方で御殿山や西久保の参加率は低い状況にあった。なお、吉祥寺北町・中町・関前など前回のワークショップでも高い参加率を得ており、地理的要因も考えられる。また、町の住民の人数の影響も割合に影響していることが推測できる。

項目	人数	比率
① 吉祥寺東町	8	9.4%
② 吉祥寺南町	8	9.4%
③ 御殿山	2	2.3%
④ 吉祥寺本町	4	4.7%
⑤ 吉祥寺北町	11	12.9%
⑥ 中町	6	7.1%
⑦ 西久保	3	3.5%
⑧ 緑町	8	9.4%
⑨ 八幡町	5	5.9%
⑩ 関前	12	14.1%
⑪ 境	6	7.1%
⑫ 境南町	5	5.9%
⑬ 桜堤	5	5.9%
不明(無回答)	2	2.3%
合計	85	

### (4) 職業

参加者の職業については、学生が17.2%（前回2.4%）となり、これまでのワークショップよりも参加率が高くなっている。一方で専業主婦・主夫が12.6%と前回（24.5%）よりも低くなっている。今回のワークショップは連休に開催していることと、若者層への参加者を呼び掛けるために18才から24才へ案内を500通増加しているために、これまでの参加者の職業割合とは違う結果となっていると推測する。

項目	人数	比率
① 会社員	26	30.6%
② 公務員	1	1.2%
③ 自営業	7	8.2%
④ パート・アルバイト	3	3.5%
⑤ 専業主婦・主夫	11	12.9%
⑥ 学生	15	17.6%
⑦ 無職	16	18.8%
⑧ その他	5	5.9%
不明(無回答)	3	1.2%
合計	87	

### (5) 居住年数

武蔵野市での居住年数については、10年以上の人が、参加者のうちの6割を超えている。一方で1年未満は3%程度と低い状況にある。また、年齢の質問で60代以上が多いことから、市内に10年以上居住している60代以上の方の参加比率が高いことが推測できる。なお、1年以上5年未満の割合が高いのは若者の参加率が高いことが影響していると考えられる。

項目	人数	比率
① 1年未満	3	3.5%
② 1年以上5年未満	12	14.1%
③ 5年以上10年未満	7	8.2%
④ 10年以上	53	62.4%
不明(無回答)	12	11.8%
合計	87	

### 参加のきっかけ

複数回答を可として、参加を決めた理由をすべてあげていただいた。全回答数に対する割合で多かった「無作為に抽出された市民が集う会議に興味があったから」は32.5%であり、「日ごろ感じていることについて他の市民と話してみたかった、意見を聞いてみたかったから」と合わせて42.3%となり、市民同士で話し合うことを求めているのが窺える。また、「長期計画・調整計画やその策定過程に興味があったから」「市政に興味があったから」が26.9%となり、市政への関心がきっかけとなり参加を決めている。

「これまで市の計画策定や施策決定の場面に参加されたことはありますか？」については、「参加したことがない」との回答が約7割であり、関心はあるものの、これまで参加に至っていなかった状況にある。また、「ワークショップ参加依頼書をご覧になる前、武蔵野市の長期計画（第五期）についてどの程度ご存知でしたか？」や「ワークショップ参加依頼書をご覧になる前、計画案をご覧になりましたか？」との問いについては、それぞれ約65%程度の方が読んでいない状況にある。このワークショップを契機に市政への関心と市民参加のきっかけとなることが望まれる。

### 問2 今回、参加をお決めいただいた理由はなんですか？（いくつでも）

項目	人数	比率
①無作為に抽出された市民が集う会議に興味があったから	40	32.5%
②市政に興味があったから	20	16.3%
③長期計画・調整計画やその策定過程に興味があったから	13	10.6%
④市民として何か活動してみたいと思っていたから	19	15.4%
⑤報酬がよかった(魅力的だった)から	6	4.9%
⑥日ごろ感じていることについて他の市民と話してみたかった、意見を聞いてみたかったから。	12	9.8%
⑦今までワークショップに参加したことがあり、良い経験ができた、役に立ったから。	7	5.7%
⑧たまたま日程が合ったから。	6	4.9%
⑨その他	0	0%
	123	

問3 参加された感想をお聞かせください。

項目	人数	比率
①おもしろかった。楽しかった。	60	69.0%
②おもしろくなかった。つまらなかった。	0	0.0%
③どちらでもない。	13	14.9%
④その他(※)	2	2.3%
不明(無回答)	12	13.8%
	87	

※・・・「具体的につめた内容であって欲しい」「日本語で話せるのはちょっと大変だ」との記述。

問4 これまで市の計画策定や施策決定の場面に参加されたことはありますか？(いくつでも)

項目	人数	比率
①計画策定等の委員として参加	3	3.5%
②計画策定等の委員会の傍聴	2	2.4%
③個人としての意見提出(パブリックコメント等)	5	5.9%
④団体(NPO・コミュニティ協議会など)として意見提出	1	1.2%
⑤タウンミーティングに出席	6	7.1%
⑥市民(住民)説明会に出席	0	0.0%
⑦参加したことがない	57	67.1%
⑧その他(※)	5	5.9%
不明(無回答)	8	7.1%
	85	

※・・・「ワークショップに参加」との記述。

問5 ワークショップ参加依頼書をご覧になる前、武蔵野市の長期計画(第五期)についての程度ご存知でしたか？

項目	人数	比率
①全く知らなかった。	37	43.5%
②名前だけは聞いたことがある。見たことがある。	22	25.9%
③読んだことがある。	23	27.1%
④その他(※)	1	1.2%
不明(無回答)	2	2.4%
	85	

※・・・「市報で読んだ」との記述

問6 ワークショップ参加依頼書をご覧になる前、計画案はご覧になりましたか？

項目	人数	比率
①読んだ。	25	29.4%
②知っていたが、読んでない。	30	35.3%
③全く知らなかった。	26	30.6%
④その他(※)	1	1.2%
不明(無回答)	3	3.5%
	85	100.0%

※・・・「HPで流し読み」「その他の冊子をもらいに行ったが、議会説明前とかもらえなかったことが多々あった」との記述

**参加後の感想**

参加後の感想は「おもしろかった、楽しかった」との回答が7割を超え、圧倒的多数であり、一方で「おもしろくなかった。つまらなかつた。」は、ゼロ件であった。また、「日本語で話すのはちょっと大変だ」との意見もあり、日本語が得意でない住民には難しさを感じていたようである。

参加後に感じたこととして、「市政について関心が高まった」「第五期長期計画・調整計画についての関心が高まった」「話し合いのテーマに関する分野について関心が高まった」「今後の武蔵野市について考えるきっかけとなった」という回答を多くいただき、このワークショップを通じ、参加者に市政への関心を高めることつながっている。また、「今まで知らなかった人(市民)と知り合うきっかけとなった。」「いろいろな市民がいて、いろいろな意見や考え方があることがわかった」との意見も多く、市民同士の知り合う機会ともなっている。

問7 今回、ワークショップに参加されて、どのようにお感じになりましたか？(いくつでも)

項目	人数	比率
①市政について関心が高まった。	40	19.3%
②第五期長期計画・調整計画について関心が高まった。	30	14.5%
③話し合いのテーマに関する分野について関心が高まった。	25	12.1%
④今まで知らなかった人(市民)と知り合うきっかけとなった。	29	14.0%
⑤今後の武蔵野市について考える機会となった。	49	23.7%
⑥いろいろな市民がいて、いろいろな意見や考え方があることがわかった。	32	15.5%
⑦何も感じなかった。	0	0.0%
⑧その他	2	1.0%
	207	

※・・・「皆さん武蔵野市の事が好きで真剣に考えていました。」「現在武蔵野市で子育てしている母親の生の声が聴け、話し合いがスムーズにできて良かった。」との記述。

## 今後について

次回ワークショップ案内が届いたら参加したいと思うか、との問いに対しては、おおよそ7割の人が「参加したい」と答えている。一方で、「どちらでもない」との意見も多数あるものの、「参加したくない」との意見は14件と少ない状況である。

今後やってみたいと思う活動はあるか、との問いに対しては、「調整計画が公表されたら読んでみたい」「計画が公表されたら意見を提出したい」が5割以上、「調整計画以外の様々な計画策定にパブリックコメントなど意見を提出したい」「タウンミーティングや市民会議に参加したい」を含めると約9割となり、今回のワークショップが市民参加の意識向上につながっていることが推測できる。また、ワークショップを開催するまで第五期長期計画・調整計画の計画案を読んでいなかった方にも関心を持っていただくことができた。

### 問8 次回ワークショップの案内が届いたら参加したいと思いますか？

項目	人数	比率
①参加したい	62	72.9%
②参加したくない	3	3.5%
③どちらでもない	11	12.9%
④その他	4	4.7%
⑤不明(無回答)	5	5.9%
	85	

### 問9 今後やってみたいと思う活動はありますか？(いくつでも)

項目	人数	比率
①第五期長期計画・調整計画が公表されたら読んでみたい。	51	44.0%
②第五期長期計画・調整計画の計画案に対して意見を提出したい。	16	13.8%
③第五期長期計画・調整計画以外の様々な計画策定にパブリックコメントなど意見を提出したい。	10	8.6%
④タウンミーティングや市民会議に参加したい。	31	26.7%
⑤特にやりたい活動はない。	7	6.0%
⑥その他(※)	1	0.9%
	116	

## 当日について

当日のテーマや進行等について伺った結果は以下のとおりであった。肯定的な回答が多かったが、テーマの設定や分野の分け方については、「分野分けはいらぬ」「もっと大きな分野でよい」との意見は少なく、一方で「もっと小さい分野がよい」というような意見が約10%あり、話す内容をイメージしにくかったようである。

### 問10 6つの分野分け（重点取り組み）はどうでしたか？（1つだけ○をつけて下さい）

項目	人数	比率
① 分野分けは要らない。	1	1.2%
② もっと大きい分野がよい。	4	4.7%
③ ちょうどよい。	46	54.1%
④ もっと小さい分野がよい。	10	11.8%
⑤ どちらとも言えない。	13	15.3%
⑥ その他(※)	7	8.2%
不明(無回答)	4	4.7%
	85	

※1・・・「テーマによる」「テーマに対してもっと具体性が欲しかった」「テーマ分けで選択するのは無理か？」  
「始めに話し合い、自分たちで定める」「市の考えを示す時間をきちんととって欲しい。1テーマで良いのでは？」「第6テーマは難しい」との記述

### 問11 本日の進行（グループ討議、最後に発表、途中メンバー変更はなし）についてどう思いますか？（1つだけ○をつけて下さい）

項目	人数	比率
①よかった。	47	55.3%
②よくなかった。(※1)	7	8.2%
③ふつう。どちらでもない。	23	27.1%
④その他(※2)	4	4.7%
不明(無回答)	4	4.7%
	85	

※1・・・「うまくまとまらなく、今後の計画にプラスになると思えない。」「メンバー変更の方が、議論が活性化すると思いました。」「市の職員のバックアップが良かった。」「進めにくかった。マイク音が邪魔だった。」「話し合っている途中でマイクで説明が入り中断される。最初に説明頂くか、紙、ボードに書いてほしい。」

※2・・・「お茶くらい出してほしい。」「グループ内の進行をグループ任せにするのは非効率。初めて会うのだから。」「声の大きい人に引きずられる。」「幅広い意見を聞けるので、メンバー変更はあった方がよい。」との記述。

問 12 テーマごとの話し合いの時間について。（1つだけ○をつけて下さい）

項目	人数	比率
①適当	58	68.2%
②長い	3	3.5%
③短い	20	23.5%
④その他	0	0.0%
不明(無回答)	4	4.7%
	85	

問 13 テーブルに配付した長期計画等の資料は役に立ちましたか？

項目	人数	比率
①役に立った。	64	75.3%
②役に立たなかった。→どんな資料があればよかったですか？（※）	15	17.6%
不明(無回答)	6	7.1%
	85	

※・・・「NEXT 吉祥寺」が欲しかった。計画案に基づきと書いてあるが「長期計画書」はやりたいこと、耳障りの良い事しか書いていないので、切り捨てたこと、問題についてもあらかじめ明らかにしてからワークショップに入らなかったです。「オリジナルプランをどのように改善したかの資料が必要。」「ゆっくり読む時間はなかった。この時間割ならなくても良いのでは」「見る時間がなかった。」「細かく分類した情報がほしい。公開できる情報はすべて公開してほしい。そもそもある情報がわからないので、これからはビッグデータの活用が大切になるのでは。」「使用することがなかった。」「存在に気付いたのが終わり頃！慣れない人の為に最初に紹介すべき。」「短い時間では読み切れない」「統計でみる武蔵野市」「読む時間がない」「読む時間がないし、説明が欲しい。」「背景、マクロ計画」「例えば子供のテーマで。0-14歳の人口、学校の講師、育児所の場所、家族のを一緒にまとめた方がいい。」「話に夢中で、役立てようということすら思いつかなかった。」との意見あり。

問 14 発表用のシート（模造紙）は、どうでしたか？

項目	人数	比率
①よかった。（わかりやすかった。使いやすかった。）	46	54.1%
②よくなかった。（何を書けばいいかわかりづらかった。）	7	8.2%
③ふつう。どちらでもない。	24	28.2%
④その他(※)	1	1.2%
不明(無回答)	7	8.2%
	85	

※・・・時間的なことより用紙ブリーズ。模造紙はよいが発想を制約する場合もある」「枠が不足」との意見。

問 15 スタッフの対応はどうでしたか。

項目	人数	比率
①満足できた。	42	49.4%
②ふつう	36	42.4%
③満足できなかった。(不満に感じた点: ※ )	4	4.7%
不明(無回答)	3	3.5%
	85	

※・・・「WS 中ほぼ常時放置だったが。」「課長さん、部長さんはちゃんと会話できるが、その他のかたは・・・。」「説明が下手」との意見。

問 16 次回無作為抽出市民によるワークショップを開催するとしたら、どのようなテーマを希望しますか。

- ・「今後どうしていくか」といったような未来に向けた前向きなワークショップに参加したいと思う。
- ・50年後の市の有り方を考えてみる
- ・アウトソーシング
- ・ある程度議論に方向性がないと、とりあえずの軟着陸を目指して似たり寄ったりな議論になります。もう少しテーマをあらかじめ絞って欲しいです。
- ・このままで良いと思います。
- ・コミセンの更なる有効活用
- ・そこまではまだ考えられないです。
- ・どんなテーマでもよいが、もう少し具体性が欲しい。テーマが多いと色々考える機会を与えられてよいと思う。
- ・マイナンバーに対応した情報セキュリティと他のセキュリティ
- ・まず各担当の重点施策の発表
- ・まちづくり
- ・ムーバスの運行ルート、生活保護を受けている人のボランティアを進める
- ・外国人の交流
- ・街づくり、景観づくりについて
- ・街の美化、安心安全な街
- ・吉祥寺やその他駅周辺の開発について。自転車対策等
- ・健康、福祉
- ・犬猫の殺処分問題について
- ・高齢者福祉・環境
- ・歳入の配分の仕方、行政サービスの優先順位の決め方。
- ・子ども達の生活、子育て支援、観光資源の活用（中島飛行場等）
- ・子育ての多様化に対する皆の理解
- ・市の行政力

- ・市議会
- ・市政に関する事ならばどのようなテーマでもよいと思うが、テーマをもう少し小さくして意見の焦点を絞り色々なアイデアを発すること促すことにより、より具体案が出るのでは。
- ・市民が参画すべきテーマに絞りこむべきかと
- ・市民活動をいかに支援するか？というテーマはどうでしょうか？
- ・出生率の増加につながる対策について（仏国では出生率がV字回復したようです。先進国でも出生率の上昇は可能なようで、その原因を探りたいですね。
- ・障害を持つ人への支援について
- ・人文科学は市民に必要なか、教育と市政など
- ・政策策定の際、年代別に意見を聞く
- ・戦争と平和
- ・総論すぎる（企画調整全体）マトを絞った事業
- ・地域の住民が仲良く出来る仕組み？
- ・長期市の収入源確保。全体的福祉（子供～老人）について
- ・道路・都市計画
- ・特になし
- ・特に選ばず
- ・年代ごとのモラルの共通点。
- ・武蔵野市に固定市民を増やすにはどうするか。家が高くて買えない。
- ・文化政策に興味があるので、武蔵野市の文化施設について話し合いたい。
- ・防災

**問 17 今回のワークショップの感想（興味を持たれたこと、印象に残ったこと、困ったところ、わかりづらかったところなど）を自由にご記入ください。**

- ・ 1テーマで4時間。同じメンバーで討議するのはちょっと運、不運があるかな～
- ・ ①市の考えをきちんともっと聞きたい。計画を策定するに当たって市庁内で何に苦勞して、何を議論して決めているのかを聞きたい。一つグループに「市」の人が入って欲しい。②データに基づく議論にしないと、机上の空論でしかないと思います。「データを見せたくない」という市の思いが感じられました。③今回の目的の達成に「発表」は必要ないと思います。今回の目的は「意見を聞くこと」と書かれていましたが、「市民に行政の限界を知って欲しい」が目的に感じました。行政の限界のレベルが低いと感じる。市長とのギャップが生じていると思いました。
- ・ ①時間内に終わらせるためのプロセスが分からない。②今回参加者は、みなまじめで真剣な取り組みであった。すばらしい!!
- ・ 50年間の較差を越えて若い人20代3人と小生含む高齢者70才以上3人が議論（話し合い）が出来て感謝。
- ・ WS自体は有意義なものだが、テーマが当日発表だとそもそもテーマに対する予備知識なしで参加する事になり、テーマに対する課題点などが見えないまま議論がちらかり過ぎるくらいがあった。グループに対しての人数を減らす、グループに一人職員をつけて議論の脱線を防

- ぐ、テーマ・問題点についてあらかじめ明らかにする、等お願いしたいです。
- ・いろいろな考えがあったがうまく着地。皆さんの考えのすごさに感心しました。
  - ・グループの中でも自分の意見を通す人、発表しない人等色々で興味深かった。
  - ・この様なワークショップの活動結果を市民に広く公開してほしい。もっと意見が活性化すると思います。
  - ・これまであんまり関心のなかった分野の担当だったが、興味を持つことができたのはとても良い機会となりました。
  - ・チームに大学生が2人いてバランスが良かった。
  - ・テーマが大きくて最初は戸惑いましたが、結局は生活に密着する事なんだと安心しました。
  - ・ファシリテーター的な役割がいることも大切ではと思いました。話がかなり脱線、飛躍しすぎてしまうこともありました。ファシリテーターの講演の受講者を活用してはどうでしょう
  - ・メンバーの関心事のばらつきが大きく意見が広い範囲となりグルーピング化の段階で手間取ってしまい、まとめるのに時間が要した。
  - ・もう少しテーマについてディスカッションする時間が必要、ファシリテーターが必要かもしれません。
  - ・やはり目標テーマ（例、3世代が住み良い市造り）を決めて事業を行うこと
  - ・何回か参加させて頂きましたが、毎回最終的には同じ内容、共感できることだけに終わる。結果、具体策を提示したグループの案は多くより皆に伝わった。テーマが大きすぎ。グループ内でのテーマのピックアップにミーティング時間を持てば良かった。
  - ・環境によりほとんど解らない事が多いと困った。
  - ・気付かない新しい面を知ることができた。
  - ・興味のあるテーマを選べた方が良かった。
  - ・交通対策の検討
  - ・公共施設と都市基盤をテーマにするには現状が分からないのももう少し詳しい資料が欲しかった。
  - ・好きなだけ投票できるといい。良い案が多いので。
  - ・今まで問題ないと思っていた部分も、大きな問題が存在していたことに気づくことが出来ました！
  - ・今回、若い人も多く、とても話しやすいワークショップでした。
  - ・今後もこのような場を設けた方が良くと思う。今回の時間の割り振り、合理的で良かった。（むだがない）ただし、集計する意味がわからない。
  - ・桜堤児童館や元西部図書館の有効活用
  - ・参加経験者がいるのは良い。
  - ・司会のペースが市民を見ないで進めすぎ。職員研修等の司会運営に慣れた人が実施した方が良い。
  - ・司会の進行が準備不足だと思います。途中で指示を変えたり、「えー」とか「あー」とかが多くて私たちは何をすべきなのか分かりづらかったです。また、事前の参加案内にも具体的に何をするのか書いて頂きたいです。また、時間配分も良くないと思います。皆が話し途中なのに中断したり、明らかに時間が余っているのを調節していただきたいです。

- ・市民意識を少し自覚した。
- ・私は日本語が上手じゃないので少し話しました。でも、最後皆の意見は私とだいたい同じ。おもしろいと思います。
- ・事前に出席連絡がしてあったので当日（資料等）は出席者に配布してほしい。その日でワークショップは今後どうかと思う。
- ・質問が出来なく困った。各テーブルに黙って座っている人がいると良い。（話の内容がわかる）質問には答えて欲しい。（自分からは話さない）
- ・終了時刻を厳守してください。集計して発表する意味はないと思う！その時間が無駄です。参加しているのがシニア男性が多かったので、それなりの結果になるのは当然なのではないですか。
- ・重要なのにすかされた感じがする。
- ・初めてこのように市民として市の活動の一環に関わりました。ディスカッションの場面で若干論点がずれていってしまうところもありましたが、様々な年齢層の方と意見交換することができて、とても貴重な良い経験になりました。
- ・初めての参加だったのですが、色々な方と意見交換ができた上、市が取り組まれている事も理解でき非常に良い経験になりました。また参加したいです。
- ・初回参加で要領が良くつかめなかった。ただし、それなりに楽しめました。
- ・世代によって行政から受ける利益となるものが異なっているのが分かった。総合病院の増設。
- ・世代間交流としても役に立ちました!!面白かったです。
- ・席替えした方が良いのでは。（マンネリ化防止のため）
- ・説明の動画が演出過剰だったのでは？挑戦的な市政は理解できますが・・・「市民ができること」の意見をまとめるのが難しいです。
- ・前のように移動があった方が良い。自分勝手の人がいてムカついた。市に対しての批判がすごすぎて話にならない。
- ・全く縁のないテーマにあたりましたが、新たに問題意識を持つきっかけとなりました。ありがとうございます。
- ・多様な考え方がある事を知った。
- ・知らせで残り2分という案内があれば良いと思う。
- ・特に若い方が頑張って嬉しく思いました。
- ・波長の合わない人が、そのテーブルを仕切るとそのテーブルは不幸になります。
- ・武蔵野市民はレベルが高い。さすが。
- ・武蔵野市民歴はまだまだ短いが、興味を持つきっかけになった。いろんな世代の方とお話する機会はないので新鮮だった。
- ・様々な年代、性別の方々と意見を交わすのはなかなか得られない機会であり、貴重な経験となった。参加資格を得られて運が良かったと思う。
- ・利息（インタレスト）の語源は「興味をもつ（インタレスティング）」というようなことを以前聞きました。興味が積み重なっていけば大きな財産になりそうです。ところでニコニコ生放送に公式チャンネルを開設するというのはどうでしょうか？費用は基本無料なので、市役所職員さんの残業代だけで情報を発信できます。



# 資 料

# 1 参加不承諾者のアンケート集計結果と分析(有効回答数:258件)

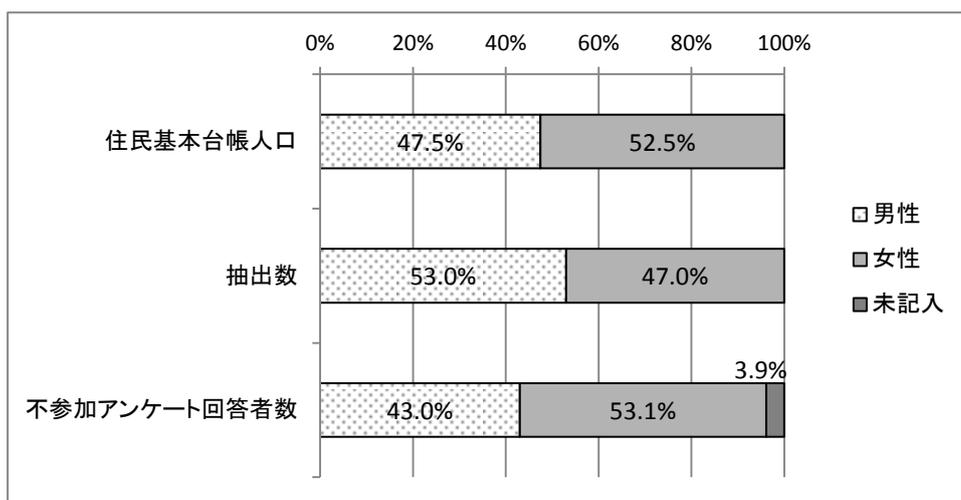
※自由記載欄は、原文のまま表記

## 1 ご自身について回答をお願いします。

(1) 性別 ① 男性 ② 女性 (単位:人)

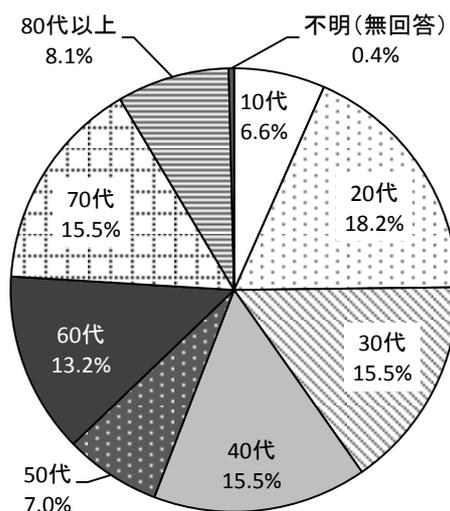
	男性	女性	未記入
住民基本台帳人口候補者数(※)	58,644	64,915	-
抽出数	795	705	-
不参加アンケート回答者数	111	137	10

※抽出日(平成27年8月1日現在)に住民基本台帳に登録されている18歳以上の者



(2) 年齢 ① 10代 ② 20代 ③ 30代 ④ 40代 ⑤ 50代 ⑥ 60代 ⑦ 70代 ⑧ 80代以上

年代	人数	比率
10代	17	6.6%
20代	47	18.2%
30代	40	15.5%
40代	40	15.5%
50代	18	7.0%
60代	34	13.2%
70代	40	15.5%
80代以上	21	8.1%
不明(無回答)	1	0.4%
合計	258	100.0%



不参加者アンケートの回収率は、前回までのワークショップと異なり督促通知を行わなかったことから、低い結果となった。

回答者の年代については、18~24歳の抽出者を増やしたことから、20代の回答者が最も多くなった。

### (3)住所

- ① 吉祥寺東町 ② 吉祥寺南町 ③ 御殿山 ④ 吉祥寺本町 ⑤ 吉祥寺北町 ⑥ 中町  
⑦ 西久保 ⑧ 緑町 ⑨ 八幡町 ⑩ 関前 ⑪ 境 ⑫ 境南町 ⑬ 桜堤

町名	人数	回答者比率	抽出者比率
吉祥寺東町	11	4.3%	8.2%
吉祥寺南町	25	9.7%	9.5%
御殿山	11	4.3%	3.4%
吉祥寺本町	20	7.8%	7.3%
吉祥寺北町	29	11.2%	10.3%
中町	17	6.6%	7.6%
西久保	19	7.4%	6.9%
緑町	14	5.4%	4.9%
八幡町	12	4.7%	4.7%
関前	25	9.7%	9.2%
境	30	11.6%	11.3%
境南町	27	10.5%	11.3%
桜堤	16	6.2%	5.5%
不明(無回答)	2	0.8%	8.2%
合計	258	100.0%	100.0%

### (4)職業

- ① 会社員 ② 公務員 ③ 自営業・自由業 ④ パート・アルバイト ⑤ 専業主婦・主夫  
⑥ 学生 ⑦ 無職 ⑧ その他( )

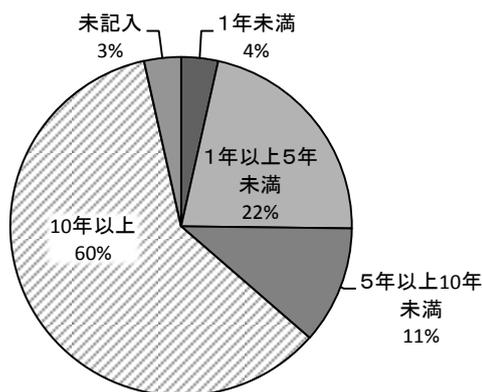
項目	人数	比率
会社員	73	28.3%
公務員	7	2.7%
自営業	19	7.4%
パート・アルバイト	14	5.4%
専業主婦・主夫	43	16.7%
学生	36	14.0%
無職	41	15.9%
その他(※)	19	7.4%
不明(無回答)	6	2.3%
合計	258	100.0%

※・・・「バレエダンサー・バレエ教室講師」  
「フリーランス」「リタイヤ」「引退」「学童指導員」「教員」「自立支援 B」「手伝い」「大学教員」「年金生活者」「無職」「福祉作業所利用者」「保育園」「老人ホームに入居」など

職業の分布については、会社員の最も割合が高くなった。また、若年層の抽出者を増やしたことから、前回までは少なかった学生の比率が大幅に増加した。

(5) 武蔵野市での居住年数

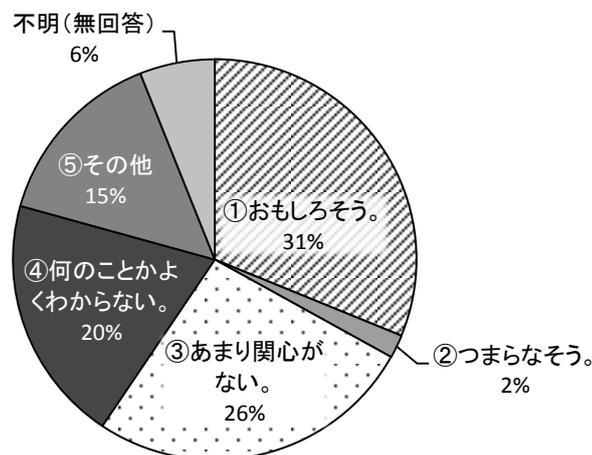
項目	人数	比率
1年未満	9	3.5%
1年以上5年未満	56	21.7%
5年以上10年未満	29	11.2%
10年以上	155	60.1%
不明(無回答)	9	3.5%
合計	258	



10年以上と回答した方が圧倒的に多く、6割を超えている。また、前回までと比較すると、1年以上5年未満の割合が増加している。

2 「武蔵野市第五期長期計画・調整計画無作為抽出市民ワークショップ」の参加依頼書を見た時、どのようにお感じになりましたか。

項目	人数	比率
①おもしろそう。	83	31.2%
②つまらなそう。	5	1.9%
③あまり関心がない、 興味がわかない。	70	26.3%
④何のことがよくわからない。	53	19.9%
⑤その他(※)	39	14.7%
不明(無回答)	16	6.0%
合計	266	100%



※・・・記載は次のとおり

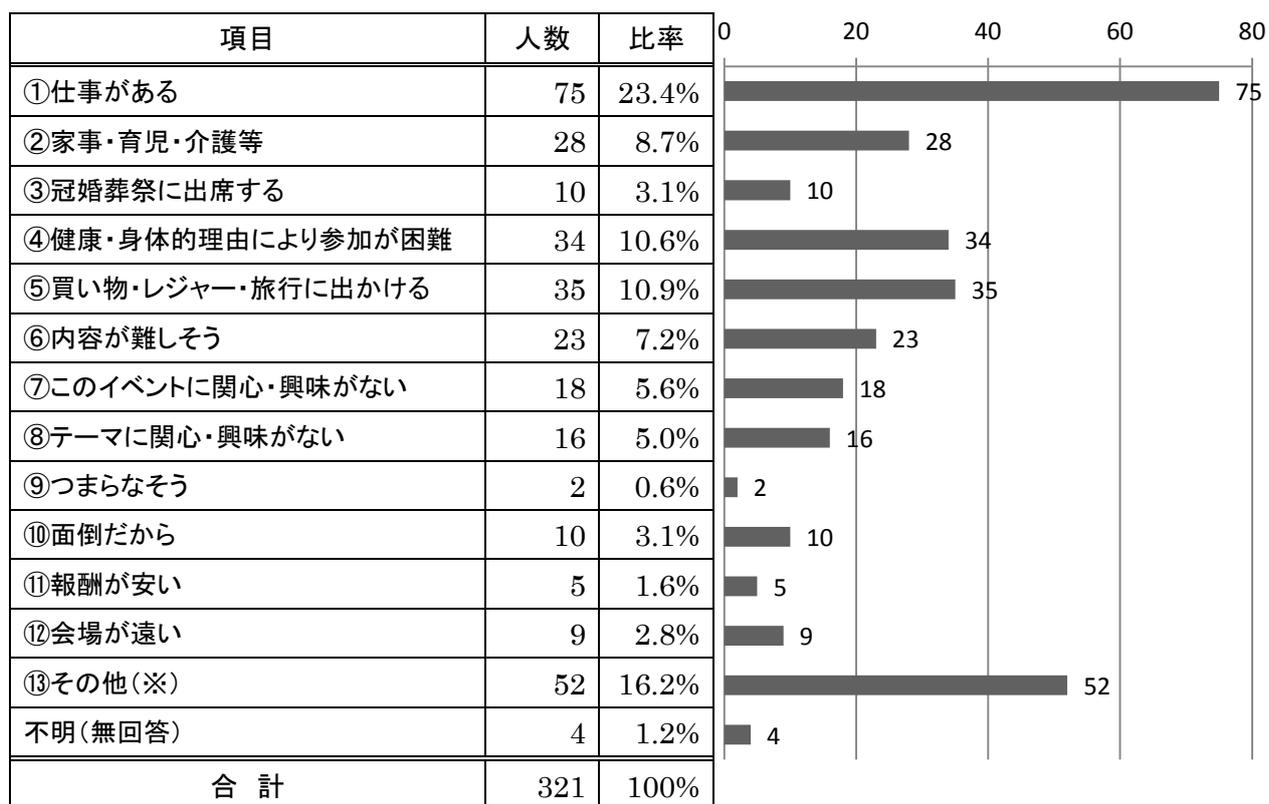
- ・ 無知のテーマが多い
- ・ 行政にどの程度反映されるのか分からない
- ・ 驚いた。何の案内なのかと思った。
- ・ 忙しくて参加できない。休ませてほしい。
- ・ その意義は充分理解出来ず
- ・ ワークショップの議論がどう生かされるのかよくわかりません。
- ・ 意見を発する機会を設ける、良い事(必要)だと思います
- ・ 第五期長期計画をよく知らない。
- ・ 大切なことだが、今回は参加できそうもない。
- ・ 大事なこと
- ・ むずかしそうで話についていけそうにない
- ・ 武蔵野市はえらい
- ・ むずかしいなと思いました。よく考えないと無責任な意見はよくないので。
- ・ テーマによっては意見を出せない項目がある

- ・ 興味を持ったが責任の重さも感じた
- ・ テーマが多すぎる
- ・ 初めてであったが、興味あり
- ・ 基本構想・長期計画(昭和 46 年度～55 年度)策定の事務局として担当したので、非常に懐かしく、もう五期になるのかと当時を思い出しました。
- ・ 意義を理解できない
- ・ 気にはなるが現実的に参加がむづかしそう
- ・ 永住予定ではないため、関心がない
- ・ 市民の意見も必要
- ・ 興味はあるが、どんな感じかよくわからないので参加するのは、ちょっと考えてしまう。
- ・ 最重要計画であり軽々に云えない
- ・ 市民の義務
- ・ 無作為でなく、各年齢層や各職業より一定数等幅広く抽出する方がよいのでは？
- ・ 居住年数が短く、あまり市のことが分かっていない人には送らなくてもいいと思った
- ・ むづかしそう
- ・ 興味深い
- ・ 他県に居るので？
- ・ 年齢的に無理
- ・ いつもはあまり関心がないが、このような案内で興味をもつようになりました。
- ・ いろいろな人から意見を吸い上げたい気持ちは分からないではないが、無理があると思う
- ・ むづかしそうな事だけど非常に大事な事だと思います。
- ・ テーマによっては難しそう
- ・ 市長のパフォーマンスか？
- ・ 重要な案件と思いました。
- ・ こんなシステムがあったのか、初めて知った
- ・ ワークショップという方式に疑問を感じた。少数意見の通りにくさもしくは意見が食い違う場合に目上の方、初対面の方に対して強く主張していけるか。または主張したところで議論とならず腹を立てられたりしないか。会社のように利害が完全に一致するわけではない中で、どこかで今後親しくなるかもしれない地域の方と面と向かって議論することに抵抗がある。
- ・ このような企画は、とても良い事だと思いました。

「おもしろそう」という回答が3割程度あり、続いて「あまり関心がない・興味がわからない」、「よくわからない」という回答が多くなっている。

自由記載欄においては、「難しくて意見が出せない」「責任を感じてしまう」といった意見が多くみられた。また、ワークショップの意義や意見の反映方法に対して疑問に思う意見もあがっていた。

### 3 今回参加されない理由について(複数回答可)



※…記載は次のとおり

- ・ 勉強をする為
- ・ 大学の行事に出席する
- ・ 海外旅行の予定があり、不在のため
- ・ 武蔵野市に長く住まないと思うので責任をもった発言が出来ない。
- ・ 里帰り出産の日程とかぶるため
- ・ 帰省の為
- ・ 癌で療養中の為
- ・ 趣旨が明確でないから
- ・ 上記の理由 考えたことがない。
- ・ 住み始めて2ヵ月程しか経っておらず、良く分からない
- ・ 受験の為
- ・ 10/1 夫の心臓の手術 術後の経過 10 月いっぱい動けない
- ・ 引越しをするため
- ・ 夫の介護
- ・ 部活動が忙しい
- ・ バス移動が不便
- ・ ワークショップ自体が苦手
- ・ 会話が不得手
- ・ 孫の運動会当日なので
- ・ 市民活動等の経験が少なく役に立ちそうに思わないから
- ・ 子の幼稚園行事のため
- ・ 学園祭の為
- ・ 他の用事があるから
- ・ 子供の運動会のため
- ・ わからないから
- ・ 自分の年齢が若い気がしてあまり聞き入れてくれない気がする
- ・ 授業
- ・ 受験で模試があるため
- ・ 私事のため
- ・ 子供の行事と重なったため
- ・ 障害者の息子がいるので日曜日に一人で5時間留守番させるのは心配なので(他の曜日なら作業に出ているが)

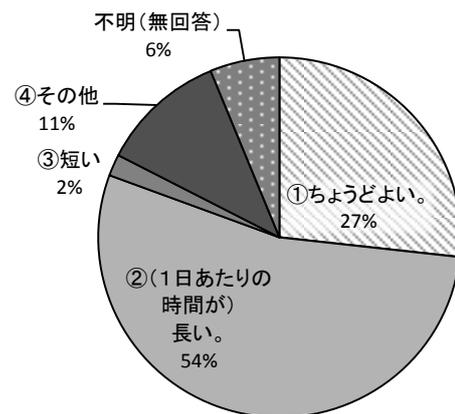
- ・ 一級建築士製図試験受験のため
- ・ 部活のイベントがある
- ・ 高齢であるし往復の時間も含めると4時間は長く無理
- ・ 現在九州宮崎に住んでいる(時々東京へ)
- ・ その日は予定があるので
- ・ 自己年齢
- ・ 責任を感じる
- ・ 予定が合わない
- ・ 実家に帰る予定あり。各テーマについて知識がなく意見を求められても困る。
- ・ 学校があるため
- ・ 他県の大学に通学している
- ・ ワークショップ形式に疑問を感じる
- ・ 設問2の回答の通り
- ・ 習い事があるため
- ・ 引越し
- ・ 拘束時間が長すぎる
- ・ 年齢層の定義がない中で4～5人のグループで意見をまとめるのが困難と感じた。年代別であれば、議論が活発にできる気がする。

参加できない理由について、最も比率が高かったのは「仕事がある」、続いて「買い物・レジャー・旅行に出かける」「健康・身体的理由」となった。

その他の記載の中では、若い世代を多く抽出したことから、「授業」と答えた市民が増えていた。

#### 4 開催スケジュールについて(複数回答可)

項目	人数	比率
①ちょうどよい。	57	19.7%
②(時間が)長い。	101	34.9%
③短い	4	1.4%
④その他(※)	14	4.8%
不明(無回答)	45	15.6%
合計	289	100%



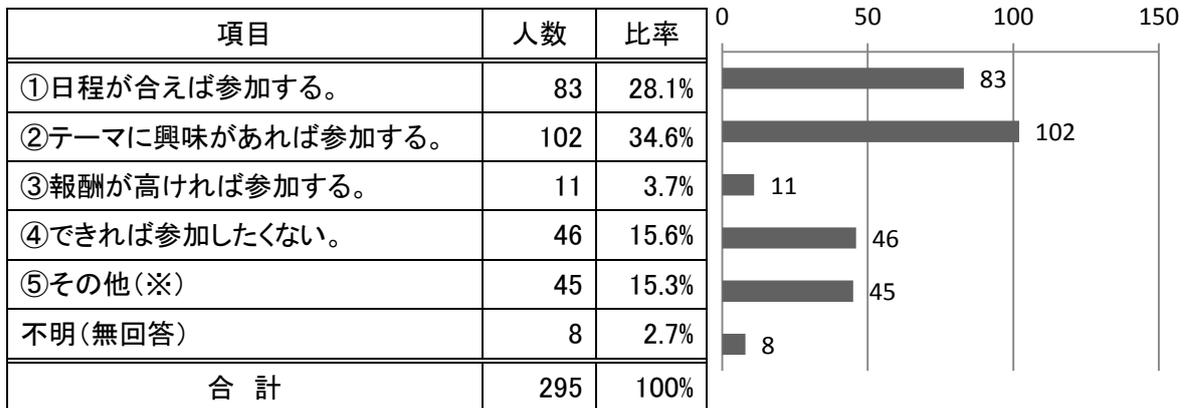
「長い」と感じている市民が多く、開催時間が4時間では長いと感じている人が多くなっている。一方で、実際に参加してみないと分からないという声も多く寄せられた。。

※…記載は次のとおり

- ・ 柔軟性を持たせてもよいのでは
- ・ 休憩入れてなら必要な時間と思う。
- ・ 4時間はダレてしまうのでは。3時間が MAX か？
- ・ ワークショップの内容にもよると思います。
- ・ わからない
- ・ 判断が出来ない
- ・ 意図が分からないので何とも言えない
- ・ わかりませんが、必要であれば回数を増やしても良いのでは
- ・ テーマが多く、それぞれ深く考えたことがない。
- ・ ワークショップをしている所を写真をとられ、ホームページにのるかもしれないが、苦手なため(税金を使っているのもすみません。しかたないですが)
- ・ ちょっと長いような…
- ・ それぞれのテーマによってちがいはあると思うのでまとめては言えません。
- ・ 体力的に無理、2時間が限界か…
- ・ 参加してみなければわからない、内容次第

- ・ イベントや会議になれていない方には4時間は最初はきついと思います。
- ・ 年齢のせい、2～3時間がよいと思う。
- ・ 参加してみないと何とも言えない
- ・ わからない
- ・ わからない
- ・ テーマにより意見の総括できる時間がどちらとも云えない
- ・ 見当が付かない
- ・ 内容によっては足りなくなりそう。
- ・ よく分からない
- ・ 参加した事なく判断基準なし
- ・ 実際の内容を知らない立場からは特になし。単純に拘束時間に対する質問であれば「長い」。
- ・ 話す内容によると思う
- ・ 話し合いの程度が分からないので長いか短いかが判断できません。
- ・ 参加していないので
- ・ 17:00 までかかると、夕方の家事に差し支える。主人が仕事だと4時間も子供だけで留守番させるには長い。
- ・ 詳細がわからない。

## 5 次回、このようなイベントの参加依頼書が届いたらどうしますか。(複数回答可)



「テーマに興味があれば参加する」と答えた人が回答者の約3分の1を占め、「日程が合えば参加する」の回答が続いた。逆に、「参加したくない」と回答したのは2割以下となった。

※…記載は次のとおり

- ・ 3と同じ
- ・ 参加出来ない。他の活動のため。
- ・ 参加不可能
- ・ 目的・意図などが明確ならば
- ・ 日々仕事と家事で精一杯のため
- ・ 高齢のため
- ・ よくわからない
- ・ その時考えます
- ・ 家族の介護のため参加できない。
- ・ どちらとも言えない
- ・ 健康状態が良ければ参加したい。
- ・ 体調が整へば
- ・ 病氣療養中のため不参加
- ・ その時にならないとわかりません
- ・ 不可能/身体障害者
- ・ 自分自身に充分の知見がある内容であれば出席する
- ・ 工程次第です。
- ・ 意味が理解出来れば参加したい。
- ・ 選出方法と状況(健康・時期・内容)による。
- ・ テーマ次第
- ・ 参加はむづかしい
- ・ 不参加
- ・ わからないからさんかできない

- ・ 91 才になりましたので参加は無理だと思います 足不自由
- ・ 永住予定ではないため
- ・ 興味があるが身体的に困難
- ・ 一人では参加しづらいので、誰か知り合いが一緒ならば考えてみたい
- ・ 不明
- ・ 長年、市にお世話になっているので協力したいが、障害のためワークショップ参加は無理なので特にテーマ1に関しては現場に当たっている家族が代理出席できる仕組みならば協力したい。(アンケート等)
- ・ 時間をもう少し短縮して下さい
- ・ 参加できない
- ・ 無理
- ・ わからない
- ・ 初めて聞いた事なので私に発言する事が出来るか不安がある。
- ・ 他県に在学しているため参加できません
- ・ イベント必要性あるの？
- ・ 形式によっては参加したい。
- ・ 手法による。
- ・ 意見を聞くだけならwebやアンケートでも可能ですよね？内容がよく分からないので参加しないと思う。
- ・ 健康であれば
- ・ 年代別や子育てしている人、仕事している人等、共通の背景を持つグループで意見を出す方がいい。

## 6 その他何かあればご自由にお書きください。(自由記載欄)

- ・ 特になし
- ・ 無作為に抽出する方法は良いと思う。それでないと言の大きい活動家の意見に偏りがちになる。
- ・ 役に立たず申し訳ございません。
- ・ なし
- ・ 箱物(新規建築物を)少なく、道路拡張、自転車道整備、五日市道の拡幅(特に成蹊大学入口付近の学生で混雑の解消)(電柱地下化)
- ・ 参加したかったのですが日程が合わなくて残念です。このような住民の意見を取り入れて頂けるワークショップ、どんどんやってほしいです。
- ・ 1人1人が武蔵野市を好きだと思って頂く事、武蔵野市に長く在住できる様な環境作りが必要ではないでしょうか。本当の武蔵野市民になって頂けるようまず、個人で住宅を持って頂く事が大切かと思えます。武蔵野市は賃貸マンション、アパートが多すぎるのではないのでしょうか。
- ・ 特にありません。
- ・ 頭と身体の体操で若者の意見を聞き参加もよし。しかし若い方々におまかせしましょう。
- ・ テーマ6点の主旨内容が広く伝わるよう工夫してください。
- ・ 病氣療養中
- ・ 10月11日第1回ワークショップには参加させて頂きます
- ・ 突然手紙が郵送されてびっくりしました。テーマが幅広すぎて、何を目的としているのかが不明で、よく分かりません。
- ・ 80才代以上になると、古い考え方にこだわりがちになります。若年、壮年、そして70年代位までで将来を見ずして新しいまちづくりを考えて頂きたいと思えます。
- ・ 自分の専門分野やテーマが合えば、意見を言えるが、初対面で4時間で・・・何を考えているのかわからない。
- ・ 都合が合わず、不参加となり申し訳ありません。次回、日程があえば参加したいと思っています。
- ・ 旅行の予定を入れてしまっていたので、もう少し前に日程を知りたかったです。参加できず、残念です。
- ・ 武蔵野市が大好きです。若い方の力でますます発展しますように。

- ・ 市民の声に耳を傾ける市政は素晴らしいと思いますが、私は転勤族のため武蔵野市に愛を見出だせないのが正直なところですよ。
- ・ 老人や母子家族など社会的弱者に
- ・ 武蔵野市では充分な取り組みがされていて満足しているので、私が意見しなくても「やってもらえる」安心感があります。本当は市民がもっと興味をもっていかなければいけないとは思いますが、協力できてなくてすみません。
- ・ 抽選で決まったテーマによっては話が出来ずに他の方に迷惑がかかりそう。話せるテーマでその日空いていれば参加しますが・・・(上からでスママセン)
- ・ 市からの防災放送が聞き取りにくい。
- ・ 託児サービスがある事に、市民の現実を考えて頂いていると感じました。難しいかもしれませんが、手が離せないという意味で介護のフォローがあれば参加できるのに、という方もおられるかなと考えました。
- ・ 本人が体調を崩しているため、今回はパスさせていただきます。又の機会がありましたら宜しく願い致します。
- ・ もう少し早めに募集するべきでは？
- ・ 残念ながら参加出来ないが、市の考え方は大いに評価する。出来るだけ多くの市民の声を反映して頂きたい。
- ・ この様な計画は大変良いと思います。これからも市で計画する予定があれば続けて欲しいと思います。
- ・ 武蔵境駅から武蔵野市役所及び市内までバスを出して欲しい。
- ・ 是非とも武蔵野市を IT、国際化に加え、特に首都圏と多摩部の結接点であることを念頭に、6つのテーマについてご議論いただき住んで良かった(世界一住みたい街)と思える都市にして頂くようお願いします。東京は世界一の都市を目指していますので!!
- ・ 今回は仕事のため参加できませんが日程が合えばぜひ参加したいと思います。
- ・ 武蔵野市は生まれてから今まで生活してきたが、学校等仕事も23区であった為、武蔵野市の事が全く不明、年金生活によってより体育館、武蔵野プレイスへ行くようになった。生活している生活しているところをもう少し知りたい。
- ・ 土、日、祝日に関係なく仕事をしています。このイベントの為に仕事を休もうとは思いません。出席しなくても、事前アンケートなどでの参加なら可能と思います。
- ・ 今年出産、その後フルタイムでの復職希望です。職場の都合上、退勤が19時以降のため、今のままですと復職できたとしても、保育費用の負担も大きく経済面で不安に思います。また、保育施設を利用するために仕事を増やすという視点から、産前前と同じように働ける為の子育て施策という視点からも考えないといけないと思います。
- ・ 武蔵野市は色々地域参加型のものがあって、面白いです。これからもっと、色々企画してもらえば・・・と思います。
- ・ 大阪から2010年にホームに入居して、現在の環境や生活に満足している。耳が悪く対話が出来ない。
- ・ 結婚を機に武蔵野市に居住して来たので、子供はまだいませんが、子育て支援や市の活動にはとても興味があります。機会があれば、次回参加したいです。
- ・ 市民によりよくなるように
- ・ 日曜日は何かと予定があるので、平日の1、2時間くらいならば参加が可能かもしれません。
- ・ 立派な長期計画案の実施並びにチェックが行われるのは市民として幸いに思っております。
- ・ テーマ①のところに参加してみたかったです!!
- ・ 参加出来ず申し訳ありません。有意義なワークショップになりますようお願い申し上げます。
- ・ ムーバス北西ルートを早朝から走らせていただきたい。
- ・ 現在本人は脳出血にて長期入院中であり、意識もない為長女である私が代筆させていただきますが、この先もこのような催しに参加出来る状態にはないため、辞退させて頂きたくお願い申し上げます。

- ・ なかなか市政の行事に参加する機会がないので、又、日程が合えば参加を検討したいです。
- ・ 現在市外在住
- ・ 両親(共に要介護4と5)の世話をしに町田市の施設に週3回通っています。(週末は泊まり込みになります)当分イベント参加の目処がたちません。
- ・ 市政の各企画その展開に感謝しています。
- ・ 直接関係ありませんが、御殿山通りの未退去のマンションを早く何とかしてください。非常に危険で事故が起こりそうです。
- ・ 日曜日はなかなか出席できません。平日の方が時間が取れます。
- ・ 10年のスパンは長すぎ時代の変化に対応できない。住民参加型がはやりだが、テーマごとに広く(学校 etc)意見をつのり職員が検討した方が効率が良いと思う。
- ・ とても興味深い他市にはなさそうな取り組みだと思いましたが、託児所はありがたいと思ったのですが、子供が人見知り、場所見知りで、私の姿が見えない環境に4時間は無理だな、、、と思いました。例えば、平日なら慣れた保育園に預け、参加できるかな、、、。
- ・ 普段から各々のテーマに関心や興味を持っている人でなければ、突然意見を求められても難しいと思う。
- ・ 残念ながら、家庭の用事で参加できません。色々な方と意見交換できるのは貴重な事だと思います。
- ・ 今回は仕事(運動会予備日)なため参加できませんが、興味深いイベントだと思います。
- ・ テーマが多すぎる。具体的なテーマ1~2ぐらいにしぼるべし。
- ・ こちらに参りましてまだ日も浅く何のお役にも立ちませんが年令的な事もご理解いただければ幸いです。皆様にはご迷惑お世話になることと思われませんが、よろしく願い致します、
- ・ 参加可能で郵送したのですが、予定が入ってしまいまして申し訳ございませんが不可ということでお願い致します。
- ・ 例えばチャット、例えば詳細なアンケートや、一次アンケートの回答を集計した結果を受けて作成したアンケートを行うなど、複数回にわたってのアンケートなど、匿名性を意識した、かつ回答タイミングに有余のある意見、提案の回収方法についても検討ください。意見がないというよりは意見する方法から得られる結果に疑問をもちました。
- ・ 子ども2人も公立小でお世話になり、自分も中学から武蔵野市民でしたので、より良い環境と市の運営の為に少しでも協力出来たらとは思っています。週末は子供の都合が多く、今回も参加不可です。すみません。
- ・ こんな人集めたって「欲しい欲しい」しか言わないから意味ないと思う。やらないよりはマシだと思うが、もう少し具体的なメリット、デメリットでアンケートした方がいい。
- ・ 武蔵野市第五期長期計画・調整計画無作為抽出ワークショップについて  
今回、標記の件について選出されましたが、大変申し訳ございませんが、辞退いたします。行政の長期計画の主旨は理解できますが、具体的な内容については、添付資料 A4 片面だけでは、分かりません。もう少し、丁寧な情報提供をお願いします。例えば、・当初の長期計画は・・・です。・長期計画に対して、整備計画は、このような対応、見直しをしています。・引き続き、現在の社会情勢や法律等を反映させた、長期計画見直しのための整備計画に、市民の意見を反映させていきます。など、もう少し、詳しく情報提供して頂きたいです。4時間も拘束するわけですから、すでに、どう見直しがされているかぐらいは、表にまとめた方が、よろしいかと思えます。よろしく願いいたします。

# 1 その他資料

## (1) ワークショップのご案内【新規参加者】

(表面)

# あなたのご意見お聞かせください

## ～市民ができること・行政がやるべきこと～



**1 高齢者福祉計画、障害者計画の着実な推進**

**2 多様な主体による子育て支援施策の実現**

**3 公共施設ネットワークと都市基盤の再整備**

**4 環境共生都市の創造に向けた新たな取り組み**

**5 個性輝く三駅周辺のまちづくりの推進**

**6 情報収集・提供機能の強化と連携**

※グループによりどのテーマを話し合うかについては抽選で決定します。

武蔵野市では、昨年度から武蔵野市第五期長期計画・調整計画（平成28～32年度）の策定に取り組み、このたび9月15日市報特集号にて、調整計画案を公表します。計画案について、多くのみなさまからご意見を伺うことを目的に、無作為に抽出された市民の方々によるワークショップを開催します。

今回のワークショップでは、調整計画の重点取り組みをテーマにみなさまからのご意見・ご提案について、グループ内で意見交換していただく予定です。  
この機会にぜひご参加ください。

**ワークショップって何するの？**

5～6人を1グループとして、グループ内でテーマについて意見を出し合ってください。

その後、グループの意見をまとめて発表します。

**長期計画・調整計画とは・・・**

長期計画とは、10年間を期間とする市の**最も重要な計画**です。市は、長期計画に基づいて市政運営を行います。

調整計画は、長期計画策定後に生じた法律の改正や社会情勢の変化などに対応し、計画の実効性を保つために策定するものです。

昨年度実施したワークショップの様子は、市ホームページでご覧いただけます。

(裏面)

**1 日 時** 平成 27 年 10 月 11 日 (日) 13:00~17:00

**2 会 場** 武蔵野市役所 西棟 8 階 811 会議室 (緑町 2-2-28)

**3 謝 礼** 4,000 円の金券 (クオカード) ※当日お渡しします

**4 参加定員数** 参加を承諾した方 100 名

**5 参加を承諾される方**

(1) 承諾書の返送

参加をご承諾いただける方は、お手数ですが、別紙承諾書に必要事項をご記入のうえ、同封の返信用封筒によりご返送ください。(平成 27 年 9 月 25 日 (金) 必着)

(2) 参加者の決定

参加を承諾された方が 100 名に満たない場合には、承諾された方全員にご参加いただきますが、100 名を超えた場合は、抽選により参加者を決定いたします。いずれの場合にも、全員に郵送にて速やかに結果をご連絡いたします。

(3) その他

参加できる方は、通知のあて先のご本人様のみとなります。ご家族の方などでも代理で参加することはできませんので、ご注意ください。

**6 参加を承諾されない方**

ご都合により参加されない場合には、お手数ですが、同封のアンケートのご協力をお願いいたします。FAX または同封の返信用封筒により平成 27 年 10 月 5 日 (月) までにご返送ください。

**7 その他** 託児・手話通訳等が必要な方は、承諾書にご記入ください。

※このご案内は、住民基本台帳から 18 歳以上の市民の方 1,500 人を無作為に抽出してお送りしています。



★お問い合わせ★

武蔵野市 総合政策部 企画調整課  
〒180-8777 武蔵野市緑町 2-2-28  
TEL 0422-60-1801  
FAX 0422-51-5638  
E-mail sec-kikaku@city.musashino.lg.jp

# あなたのご意見お聞かせください

～市民ができること・行政がやるべきこと～



## テーマ

1 高齢者福祉計画、障害者計画の着実な推進

2 多様な主体による子育て支援施策の実現

3 公共施設ネットワークと都市基盤の再整備

4 環境共生都市の創造に向けた新たな取り組み

5 個性輝く三駅周辺のまちづくりの推進

6 情報収集・提供機能の強化と連携



※グループによりどのテーマを話し合うかについては抽選で決定します。

前回はお忙しい中、無作為抽出市民ワークショップにご参加くださり、ありがとうございました。  
9月15日市報特集号にて公表する、武蔵野市第五期長期計画・調整計画計画案について、多くのみなさまからご意見を伺うことを目的に、無作為抽出市民ワークショップを開催します。

今回のワークショップでは、調整計画の重点取り組みをテーマにみなさまからのご意見・ご提案について、グループ内で意見交換していただく予定です。

この機会にぜひご参加ください。

### ワークショップって何をするの？

5～6人を1グループとして、グループ内でテーマについて意見を出し合ってください。

その後、グループの意見をまとめて発表します。

### 長期計画・調整計画とは…

長期計画とは、10年間で期間とする市の最も重要な計画です。市は、長期計画に基づいて市政運営を行います。

調整計画は、長期計画策定後に生じた法律の改正や社会情勢の変化などに対応し、計画の実効性を保つために策定するものです。

昨年度実施したワークショップの様子は、市ホームページでご覧いただけます。

(裏面)

**1 日 時** 平成 27 年 10 月 11 日 (日) 13:00~17:00 (予定)

**2 会 場** 武蔵野市役所 西棟 8 階 811 会議室 (緑町 2-2-28)

**3 謝 礼** 4,000 円の金券 (クオカード) ※当日お渡しします

**4 参加定員数** 参加を承諾した方 20 名  
(今回新たに無作為で抽出した方のうち、参加を承諾した方と合わせて 100 名)

#### **5 参加を承諾される方**

(1) 承諾書の返送

参加をご承諾いただける方は、お手数ですが、別紙承諾書に必要事項をご記入のうえ、同封の返信用封筒によりご返送ください。(平成 27 年 9 月 25 日 (金) 必着)

(2) 参加者の決定

参加を承諾された方が 100 名に満たない場合には、承諾された方全員にご参加いただきますが、100 名を超えた場合は、抽選により参加者を決定いたします。いずれの場合にも、全員に郵送にて速やかに結果をご連絡いたします。

(3) その他

参加できる方は、通知のあて先のご本人様のみとなります。ご家族の方などでも代理で参加することはできませんので、ご注意ください。

**6 その他** 託児・手話通訳等が必要な方は、承諾書にご記入ください。

この案内は、今回新たに無作為で抽出した方とは別に、前回ご参加いただいた方宛にお送りしています。



★お問い合わせ★

武蔵野市 総合政策部 企画調整課  
〒180-8777 武蔵野市緑町 2-2-28  
TEL 0422-60-1801  
FAX 0422-51-5638  
E-mail sec-kikaku@city.musashino.lg.jp

(3) 承諾書

## 承諾書

私は、武蔵野市第五期長期計画・調整計画無作為抽出市民ワークショップの趣旨を理解し、参加することを承諾します。

平成27年\_\_\_\_月\_\_\_\_日

ふりがな  
お名前 \_\_\_\_\_

生年月日  姓・名・姓 \_\_\_\_\_ 年      月      日

ご住所  武蔵野市 \_\_\_\_\_

電話番号 \_\_\_\_\_

●託児サービスを利用しますか。

①いいえ ・ ②はい ⇒ お子さまのお名前：ふりがな \_\_\_\_\_ ( 男 ・ 女 )  
年齢： \_\_\_\_ 歳 \_\_\_\_ か月

●手話通訳等の配置が必要ですか。

①いいえ ・ ②はい (手話通訳・車いすの介助者)

※ 承諾書に記載された内容については、武蔵野市第五期長期計画・調整計画無作為抽出市民ワークショップの実施目的以外には使用いたしません。

(4) アンケート (不参加者用)

ご都合により、ご参加いただけない方へ  
アンケートにぜひご協力ください。

FAX 送信先  
武蔵野市 総合政策部 企画調整課 宛  
FAX 0422-51-5638

アンケート

該当する番号に○をつけてください (複数回答可)

1 ご自身について回答をお願いします。

- (1) 性別 ① 男性 ② 女性  
(2) 年齢 ① 10代 ② 20代 ③ 30代 ④ 40代 ⑤ 50代 ⑥ 60代  
⑦ 70代 ⑧ 80代以上  
(3) ご住所 ① 吉祥寺東町 ② 吉祥寺南町 ③ 御殿山 ④ 吉祥寺本町 ⑤ 吉祥寺北町  
⑥ 中町 ⑦ 西久保 ⑧ 緑町 ⑨ 八幡町 ⑩ 関前 ⑪ 境  
⑫ 境南町 ⑬ 桜堤  
(4) ご職業 ① 会社員 ② 公務員 ③ 自営業・自由業 ④ パート・アルバイト  
⑤ 専業主婦・主夫 ⑥ 学生 ⑦ 無職 ⑧ その他 ( )  
(5) 武蔵野市での居住年数 ( ) 年

2 「武蔵野市第五期長期計画・調整計画無作為抽出市民ワークショップ」の参加依頼書を見た時、どのようにお感じになりましたか。

- ① おもしろそう。 ② つまらなそう。 ③ あまり関心がない。興味がわからない。  
④ 何のことかよくわからない。 ⑤ その他 ( )

3 今回参加されない理由について

- ① 仕事がある ② 家事・育児・介護等 ③ 冠婚葬祭に出席する  
④ 健康・身体的理由により参加が困難 ⑤ 買い物・レジャー・旅行に出かける  
⑥ 内容が難しそう ⑦ このイベントに関心・興味が無い  
⑧ テーマに興味・関心がない ⑨ つまらなそう ⑩ 面倒だから ⑪ 報酬が安い  
⑫ 会場が遠い ⑬ その他 ( )

4 開催スケジュールについて

4時間行うことについてどう思われますか？

- ① ちょうどよい。 ② (時間が) 長い。  
③ 短い。 ④ その他 ( )

5 次回、このようなイベントの参加依頼書が届いたらどうしますか。

- ① 日程が合えば参加する。 ② テーマに興味があれば参加する。 ③ 報酬が高ければ参加する。  
④ できれば参加したくない。 ⑤ その他 ( )

6 その他何かあればご自由にお書きください。

[ ]

(5) 参加承諾書への決定通知

平成 27 年 9 月 30 日

参加に承諾いただいた皆様へ

第五期長期計画・調整計画無作為抽出市民ワークショップ参加決定について

このたびは、ワークショップへの参加のご承諾をいただき、誠にありがとうございます。  
ご承諾いただいた方全員にご参加いただくことになりましたので、お知らせします。当日、この書面をお持ちくださいますようお願いいたします（なお、ご参加できるのは通知をお送りしたご本人のみです。ご家族の方でも参加はできませんのでご了承ください。）。

当日は、別紙「調整計画の重点取り組み」（調整計画案本文から一部抜粋）をテーマに、「市民ができること」「行政がやるべきこと」という2つの視点で話し合いを行う予定です。皆さまのご来場を心よりお待ちしております。

■日 時：平成 27 年 10 月 11 日（日） 13：00～17：00  
（開場は 12：30）

■会 場：武蔵野市役所 西棟 8 階 811 会議室（緑町 2-2-28）

☆吉祥寺駅（北口バス停①のりば）  
柳沢駅前行き（武蔵野市役所経由）  
「武蔵野市役所」下車

☆三鷹駅（北口バス停①のりば）  
北裏、武蔵関駅、田無橋場行き  
「武蔵野市役所前」下車

☆武蔵境駅（北口バス停④のりば）  
三鷹駅行き「武蔵野営業所」下車徒歩 8 分

休日につき、建物の入口はクリーンセンター側にある西棟の宿直入口になります。



※第五期長期計画・調整計画の計画案は以下のとおり配布しています。

- ・ 9 月 15 日市報特集号で全戸配布
  - ・ 冊子版は、市役所、市政センター、図書館、コミュニティセンターで配布
- ※ホームページでもご覧いただけます。

[http://www.city.musashino.lg.jp/sesaku\\_keikaku/kihonkoso\\_chokikeikaku/17837/022181.html](http://www.city.musashino.lg.jp/sesaku_keikaku/kihonkoso_chokikeikaku/17837/022181.html)  
計画案ホームページ二次元バーコード▼



■お問合せ■ 武蔵野市総合政策部企画調整課  
TEL 0422-60-1801  
（当日の連絡先）TEL 090-3203-3835

(6) アンケート (参加者用)

(表面)

**参加者アンケート**

本日はご参加いただき誠にありがとうございました。今後の事業の参考とするため、ぜひアンケートにご協力ください。(該当する番号を○で囲んでください。)

1 ご自身について回答をお願いします。

(1)性 別 ①男性 ②女性

(2)年 齢 ①10代 ②20代 ③30代 ④40代 ⑤50代 ⑥60代 ⑦70代 ⑧80代以上

(3)ご住所 ①吉祥寺東町 ②吉祥寺南町 ③御殿山 ④吉祥寺本町 ⑤吉祥寺北町 ⑥中町  
⑦西久保 ⑧緑町 ⑨八幡町 ⑩関前 ⑪境 ⑫境南町 ⑬桜堤

(4)ご職業 ①会社員 ②公務員 ③自営業 ④パート・アルバイト  
⑤専業主婦・主夫 ⑥学生 ⑦無職 ⑧その他 ( )

(5)武蔵野市での居住年数 ①1年未満 ②1年以上5年未満 ③5年以上10年未満 ④10年以上

2 今回、参加をお決めいただいた理由は何ですか？(いくつでも)

- ① 無作為に抽出された市民が集う会議に興味があったから。
- ② 市政に興味があったから。
- ③ 長期計画・調整計画やその策定過程に興味があったから。
- ④ 市民として何か活動してみたいと思っていたから。
- ⑤ 報酬がよかった(魅力的だった)から。
- ⑥ 日ごろ感じていることについて他の市民と話してみたかった、意見を聞いてみたかったから。
- ⑦ 今までワークショップに参加したことがあり、良い経験ができた、役に立ったから。
- ⑧ たまたま日程が合ったから。
- ⑨ その他 ( )

3 参加された感想をお聞かせください。

- ① おもしろかった。楽しかった。 ② おもしろくなかった。つまらなかった。
- ③ どちらでもない。 ④ その他 ( )

4 これまで市の計画策定や施策決定の場面に参加されたことはありますか？(いくつでも)

- ① 計画策定等の委員として参加 ② 計画策定等の委員会の傍聴
- ③ 個人としての意見提出(パブリックコメント等)
- ④ 団体(NPO・コミュニティ協議会など)として意見提出
- ⑤ タウンミーティングに出席 ⑥ 市民(住民)説明会に出席
- ⑦ 参加したことがない ⑧ その他 ( )

5 ワークショップ参加依頼書をご覧になる前、武蔵野市の長期計画(第五期)についてどの程度ご存知でしたか？

- ① 全く知らなかった。 ② 名前だけは聞いたことがある。見たことがある。
- ③ 読んだことがある。 ④ その他 ( )

6 ワークショップ参加依頼書をご覧になる前、計画案はご覧になりましたか？

- ① 読んだ。 ② 知っていたが、読んでない。
- ③ 全く知らなかった。 ④ その他 ( )

⇒裏面に続きます

(裏面)

- 7 今回、ワークショップに参加されて、どのようにお感じになりましたか？(いくつでも)
- ① 市政について関心が高まった。
  - ② 第五期長期計画・調整計画について関心が高まった。
  - ③ 話し合いのテーマに関する分野について関心が高まった。
  - ④ 今まで知らなかった人(市民)と知り合うきっかけとなった。
  - ⑤ 今後の武蔵野市について考える機会となった。
  - ⑥ いろいろな市民がいて、いろいろな意見や考え方があったことがわかった。
  - ⑦ 何も感じなかった。
  - ⑧ その他( )
- 8 次回、ワークショップのご案内が届いたら参加したいと思いますか？
- ① 参加したい。 ② 参加したくない。
  - ③ どちらでもない。 ④ その他( )
- 9 今後やってみたいと思う活動はありますか？(いくつでも)
- ① 第五期長期計画・調整計画が公表されたら読んでみたい。
  - ② 第五期長期計画・調整計画の計画案に対して意見を提出(パブリックコメント)したい。
  - ③ 第五期長期計画・調整計画以外の様々な計画策定で意見を提出(パブリックコメント)したい。
  - ④ タウンミーティングや市民会議に参加したい。
  - ⑤ 特にやりたい活動はない。
  - ⑥ その他( )
- 10 6つのテーマ分け(重点取り組み)についてはいかがでしたか(1つだけ○をつけて下さい)
- ① テーマ分けは要らない。 ② もっと大きいテーマがよい。
  - ③ ちょうどよい。 ④ もっと小さいテーマがよい。
  - ⑤ どちらとも言えない。 ⑥ その他( )
- 11 本日の進行(グループ討議、最後に発表、途中メンバー変更はなし)についてどう思いますか？(1つだけ○をつけて下さい)
- ① よかった。 ② よくなかった。(理由: )
  - ③ ふつう。どちらでもない。 ④ その他( )
- 12 テーマごとの話し合いの時間について。(1つだけ○をつけて下さい)
- ① 適当 ② 長い ③ 短い ④ その他( )
- 13 テーブルに配置した資料は役に立ちましたか？
- ① 役に立った。
  - ② 役に立たなかった。→どんな資料があればよかったですか？( )
- 14 発表用のシート(模造紙)は、どうでしたか？
- ① よかった。(わかりやすかった。使いやすかった。)
  - ② よくなかった。(何を書けばいいかわかりづらかった。)
  - ③ ふつう。どちらでもない。 ④ その他( )
- 15 スタッフの対応はどうでしたか。
- ① 満足できた。 ② ふつう。 ③ 満足できなかった。(不満に感じた点: )
- 16 次回無作為選出市民によるワークショップを開催するとしたら、どのようなテーマを希望しますか。
- [ ]
- 17 今回のワークショップの感想(興味を持たれたこと、印象に残ったこと、困ったところ、わかりづらかったところなど)を自由にご記入ください。
- [ ]

ご協力ありがとうございました。

## (7) 見学のルール

### ワークショップ見学のルール

#### 1 見学の手続

ワークショップを見学しようとする人は、受付で住所および氏名を記入し、入室中は見学者名札を着用するものとします。

#### 2 見学の定員

見学の定員は、原則として10人程度とし、事務局が会場の状況を考慮して決定します。

#### 3 会場に入ることができない人

- (1) 銃器その他危険なものを所持している人
- (2) 酒気を帯びていると認められる人
- (3) 張り紙、ビラ、旗の類を所持している人
- (4) 笛、ラッパ、太鼓その他楽器の類を所持している人
- (5) 会議を妨害し、又は人に迷惑を及ぼすと認められる人

#### 4 見学人の守るべき事項

- (1) 一切の発言はできませんので、あらかじめご了承ください。
- (2) 飲食又は喫煙はできません。
- (3) 写真、ビデオ等の撮影又は録音はできません。ただし、特に事務局の許可を得た場合を除きます。
- (4) ワorkshop開催中は、携帯電話の電源を切るか、マナーモードに設定してください。
- (5) その他ワークショップの運営に支障となる行為はしないでください。
- (6) 事務局の指示に従ってください。

#### 5 その他

- (1) 入退室は、進行に支障のないように配慮してください。
- (2) 話し合いの支障となるような行為は厳に慎んでください。
- (3) 見学者は、事務局が会議の進行に支障があると判断した場合又は見学者がこのルールに定める事項に従わない場合で、事務局から退室の指示があったときは、直ちに退室しなければなりません。
- (4) お帰りの際には、見学者名札を事務局へご返却ください。



第五期長期計画・調整計画  
無作為抽出市民ワークショップⅣ  
(平成 27 年 10 月 11 日開催)  
報告書

平成 27 年 11 月

発行 武蔵野市総合政策部企画調整課  
〒180-8777 東京都武蔵野市緑町 2 丁目 2 番 28 号  
電話 0422-60-1801